

# がん患者を対象とした 経済毒性についてのアンケート結果

## 【アンケートの概要】

目的：がん患者が感じる経済的負担の実像を明らかにする

対象者：日本在住で20歳以上のがん治療経験者

依頼方法：キャンサーネットジャパンのメルマガ読者やSNS

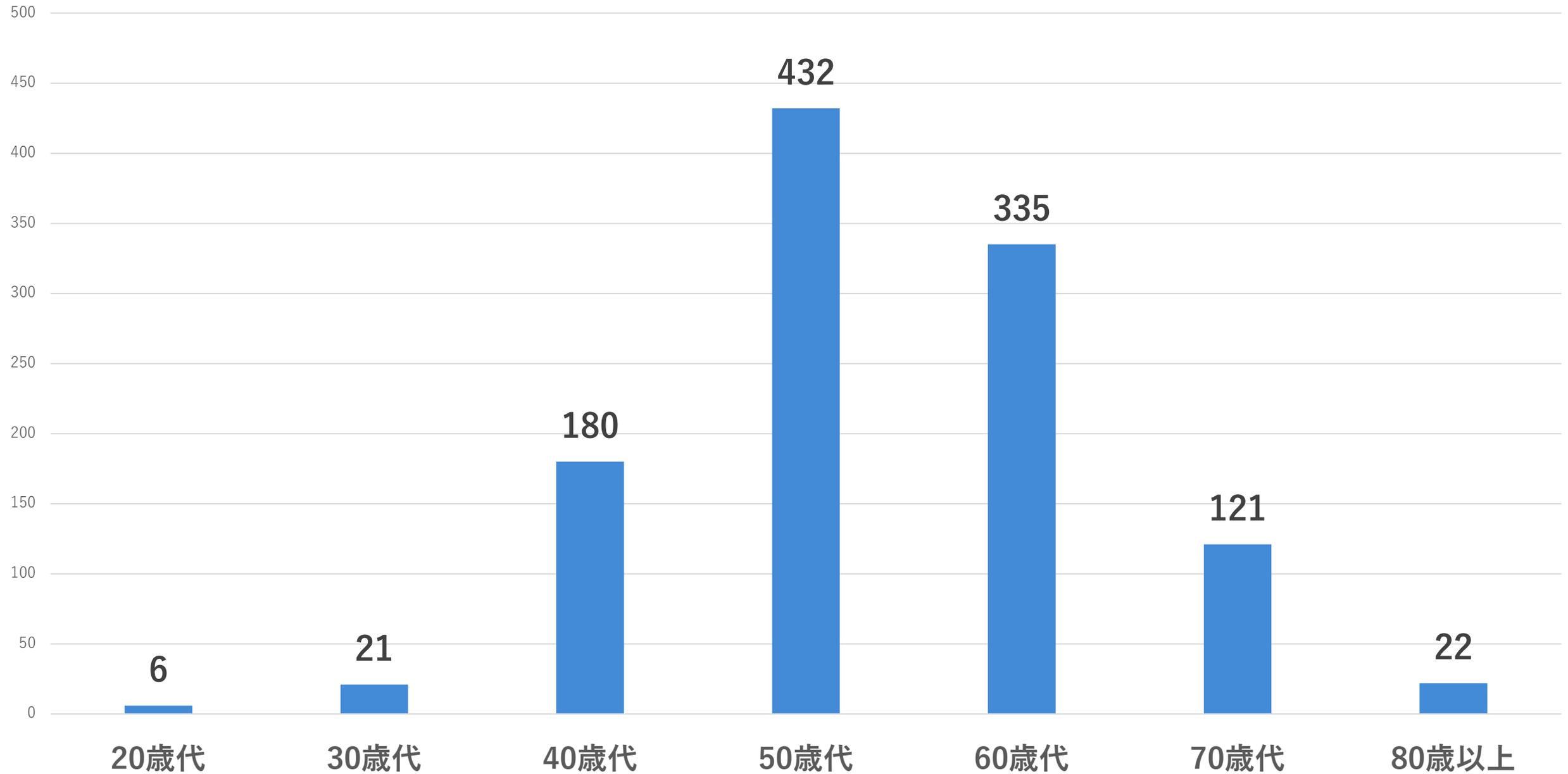
調査期間：2024年8月8日～9月1日

設問数：最大41問

回答者数：1,117人

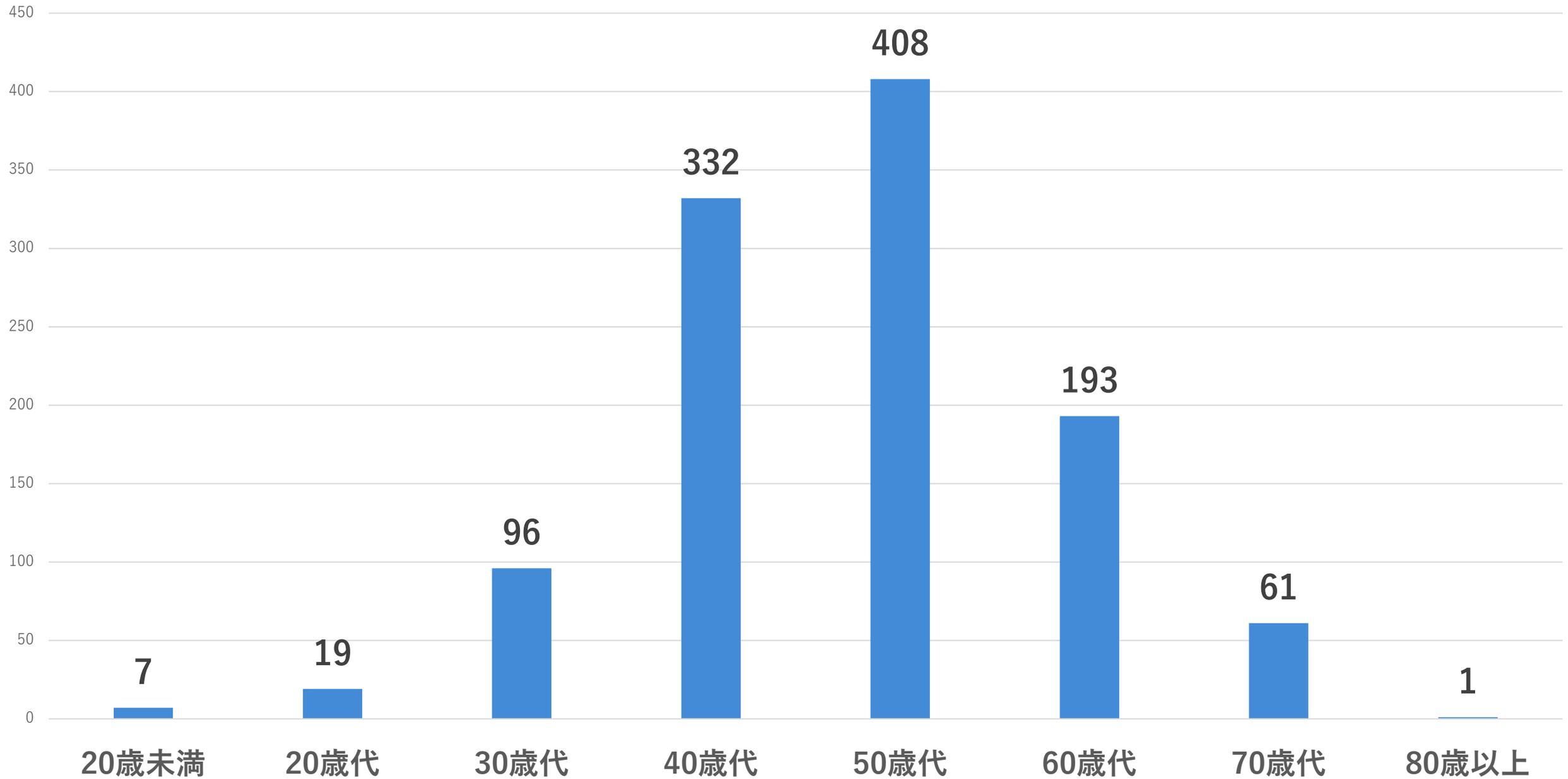
# 1. 現在の年齢を教えてください

N = 1,117



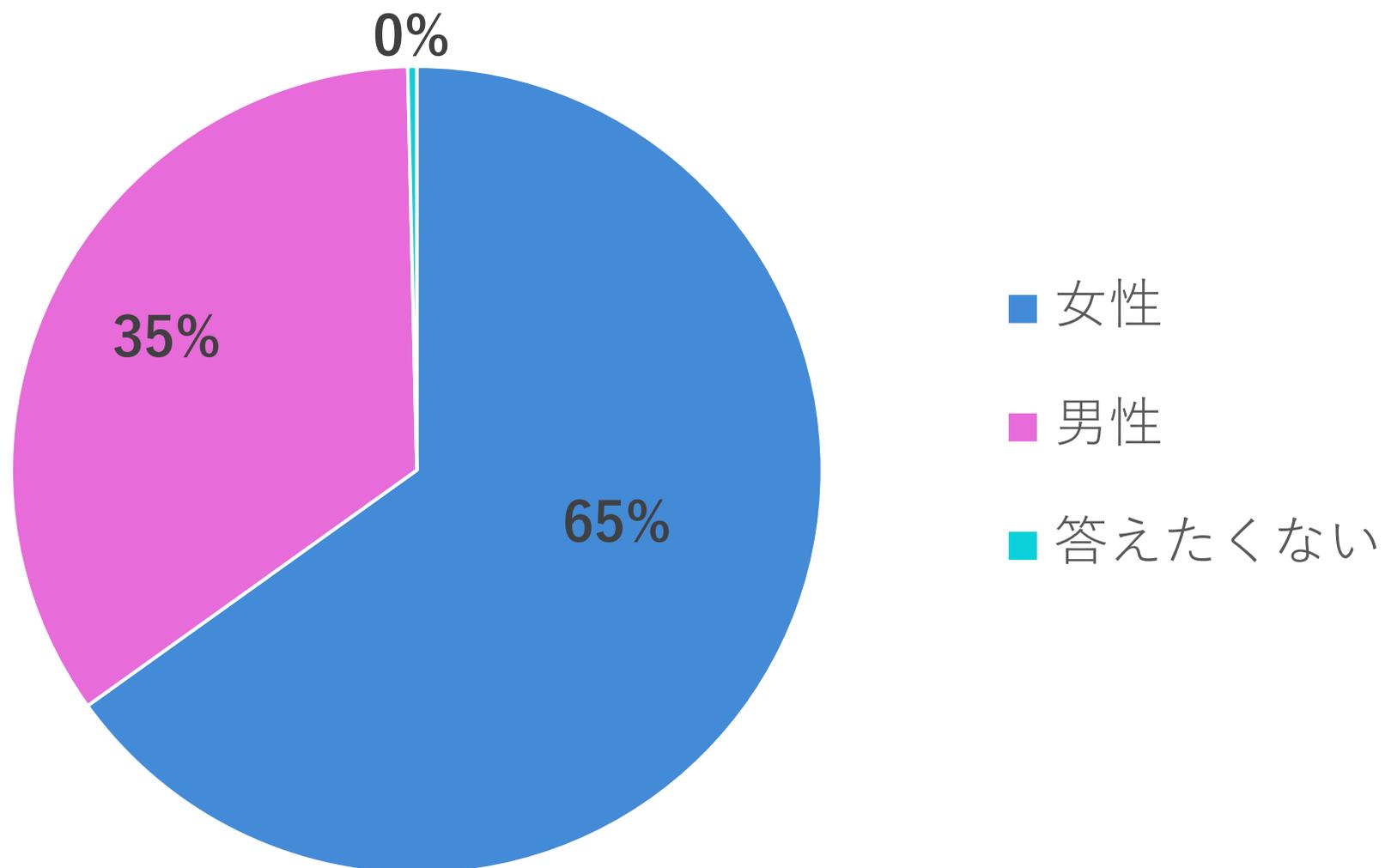
## 2. がんと診断されたときの年齢を教えてください

N = 1,117



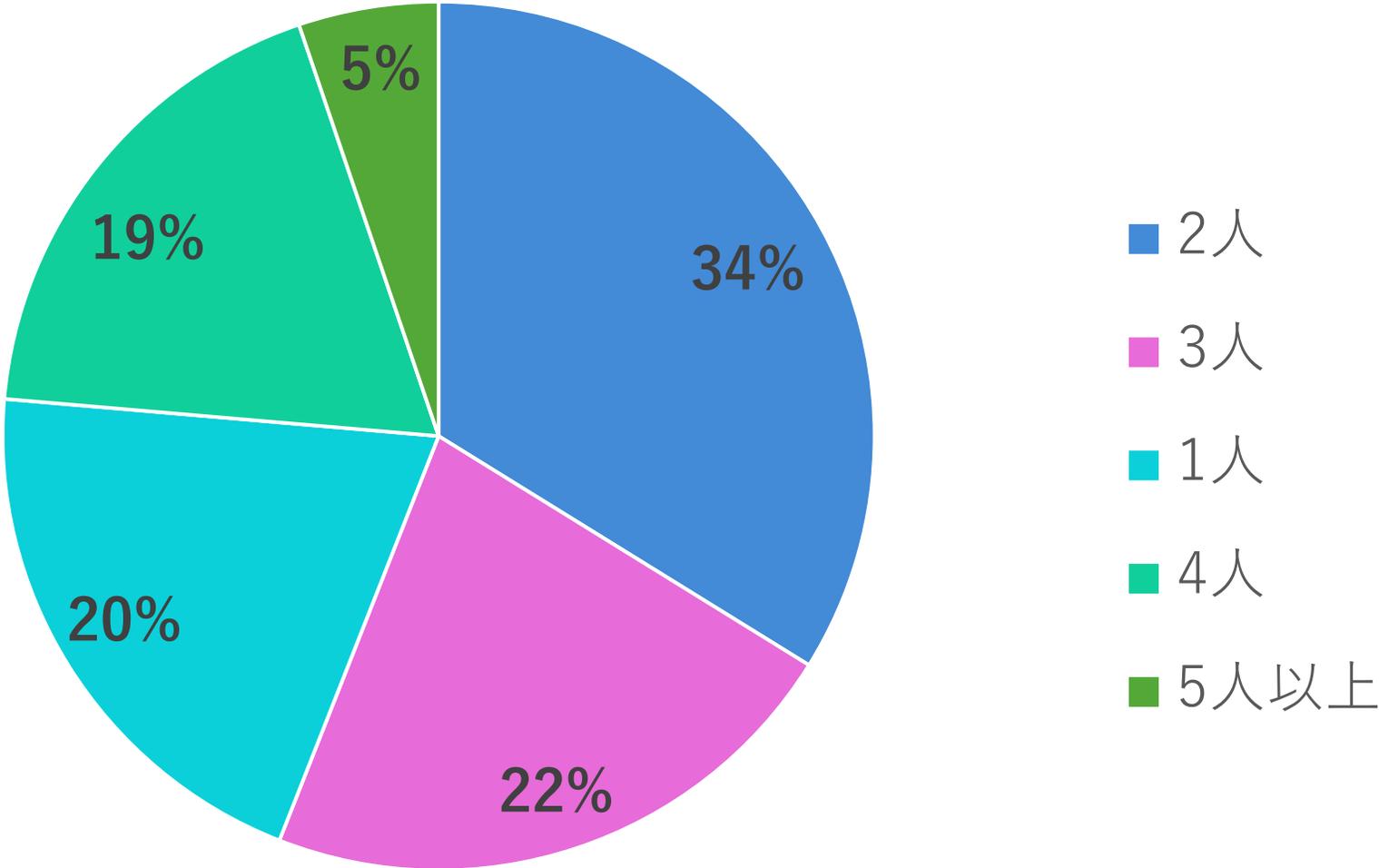
### 3. 性別を教えてください

N = 1,117



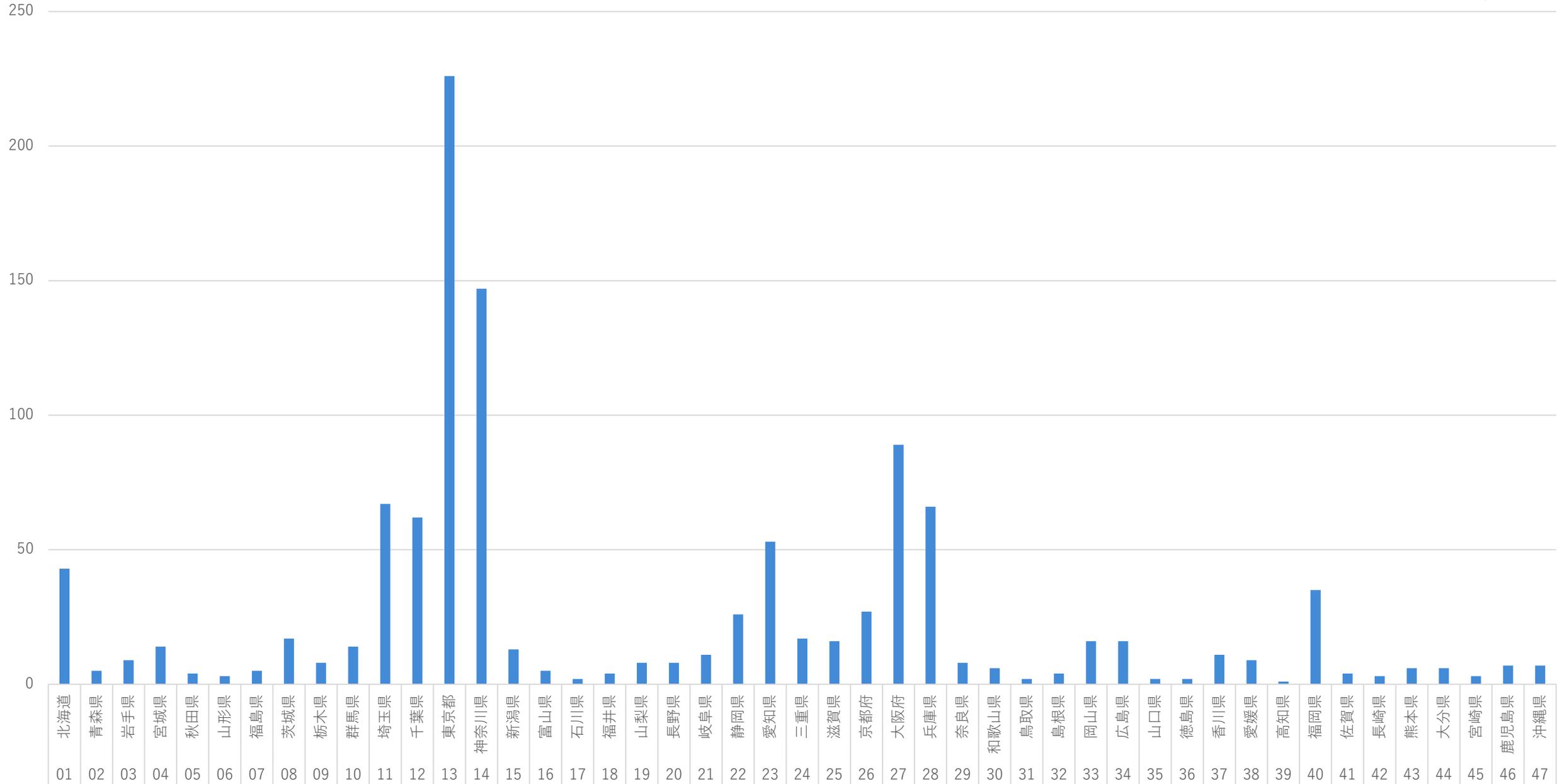
4.がんと診断されたとき、同居されていたご家族の人数を教えてください(自分を入れて  
教えてください)

N=1,117



# 5. がんと診断された時の居住地（都道府県）を教えてください

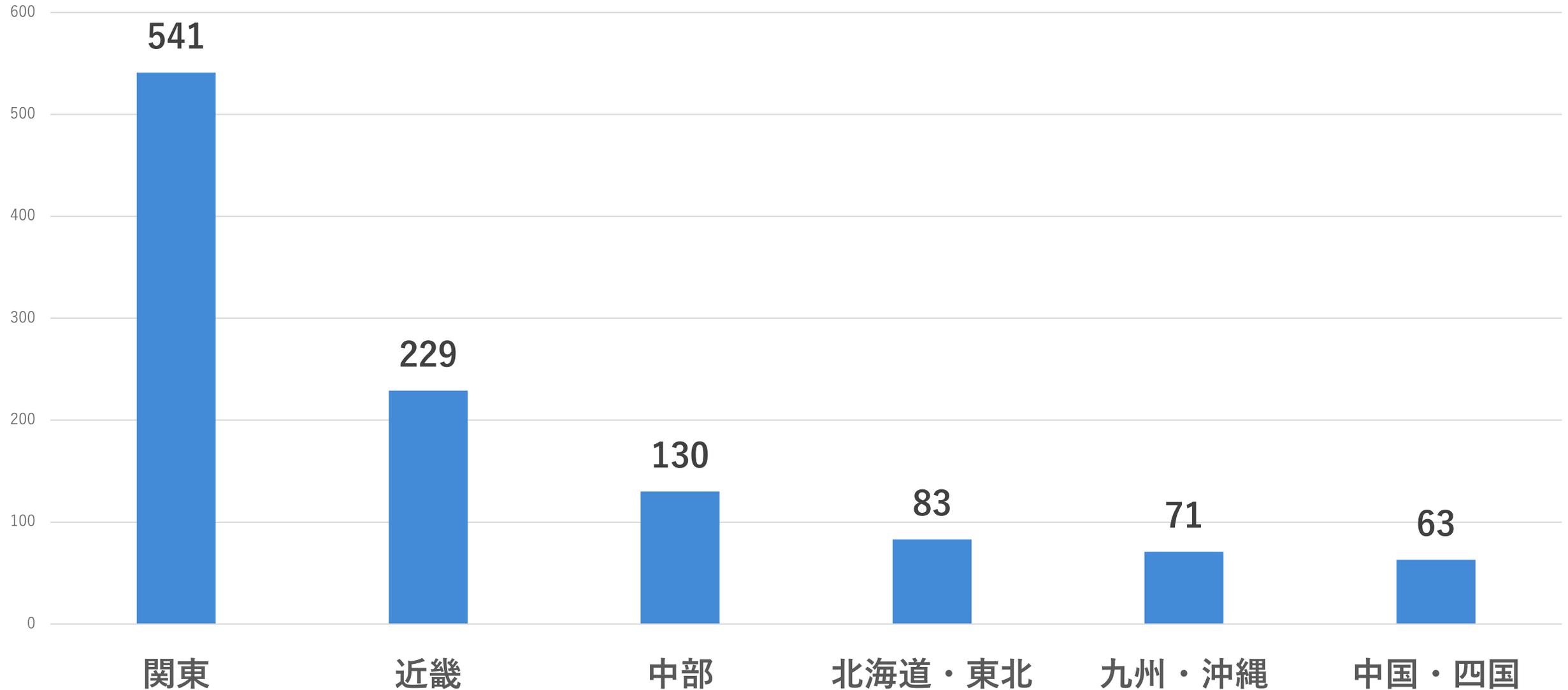
N = 1,117



# 5. がんと診断された時の居住地（都道府県）を教えてください

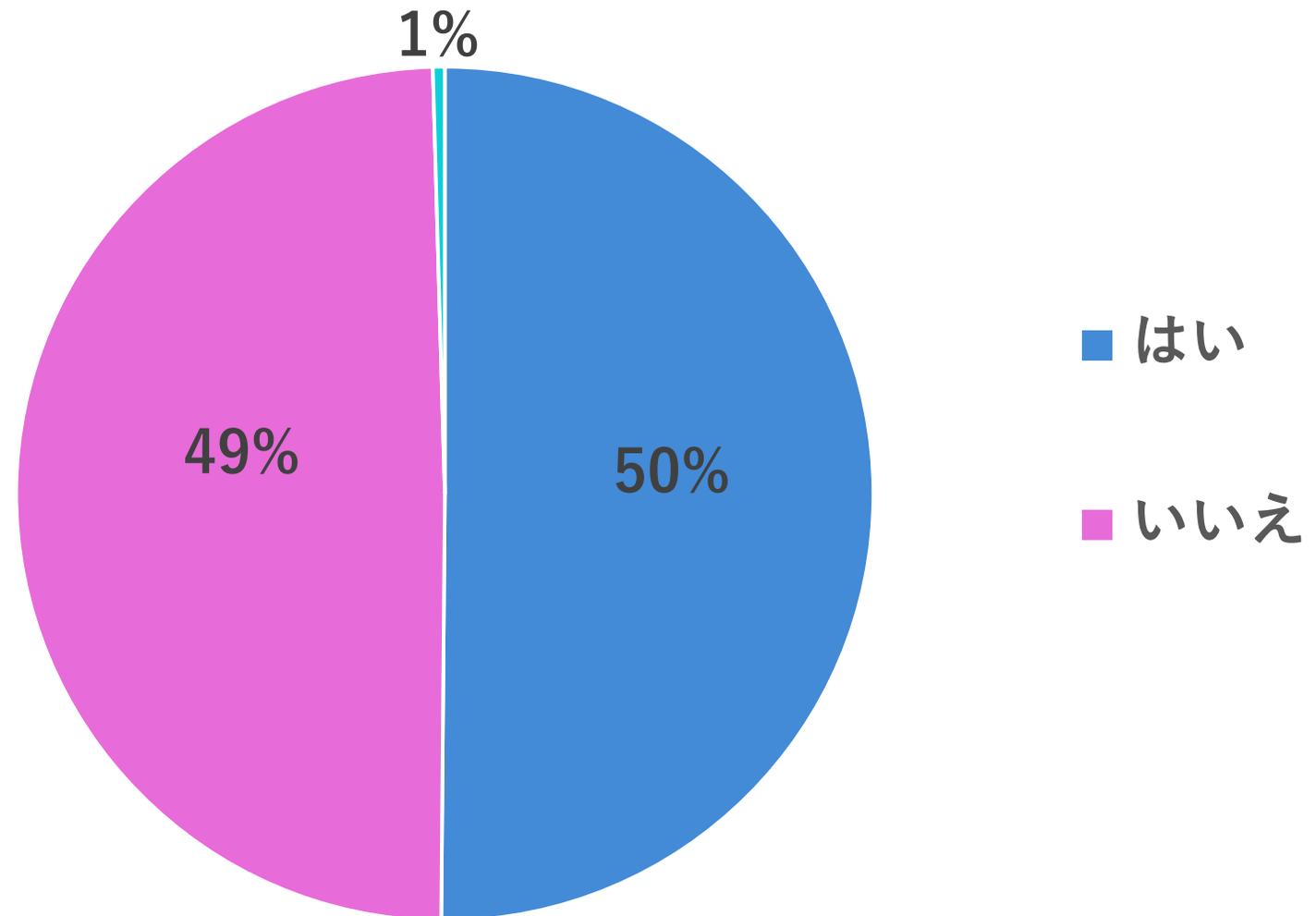
地域別で表示

N = 1,117



## 6.がんと診断された時の居住地は県庁所在地でしたか？

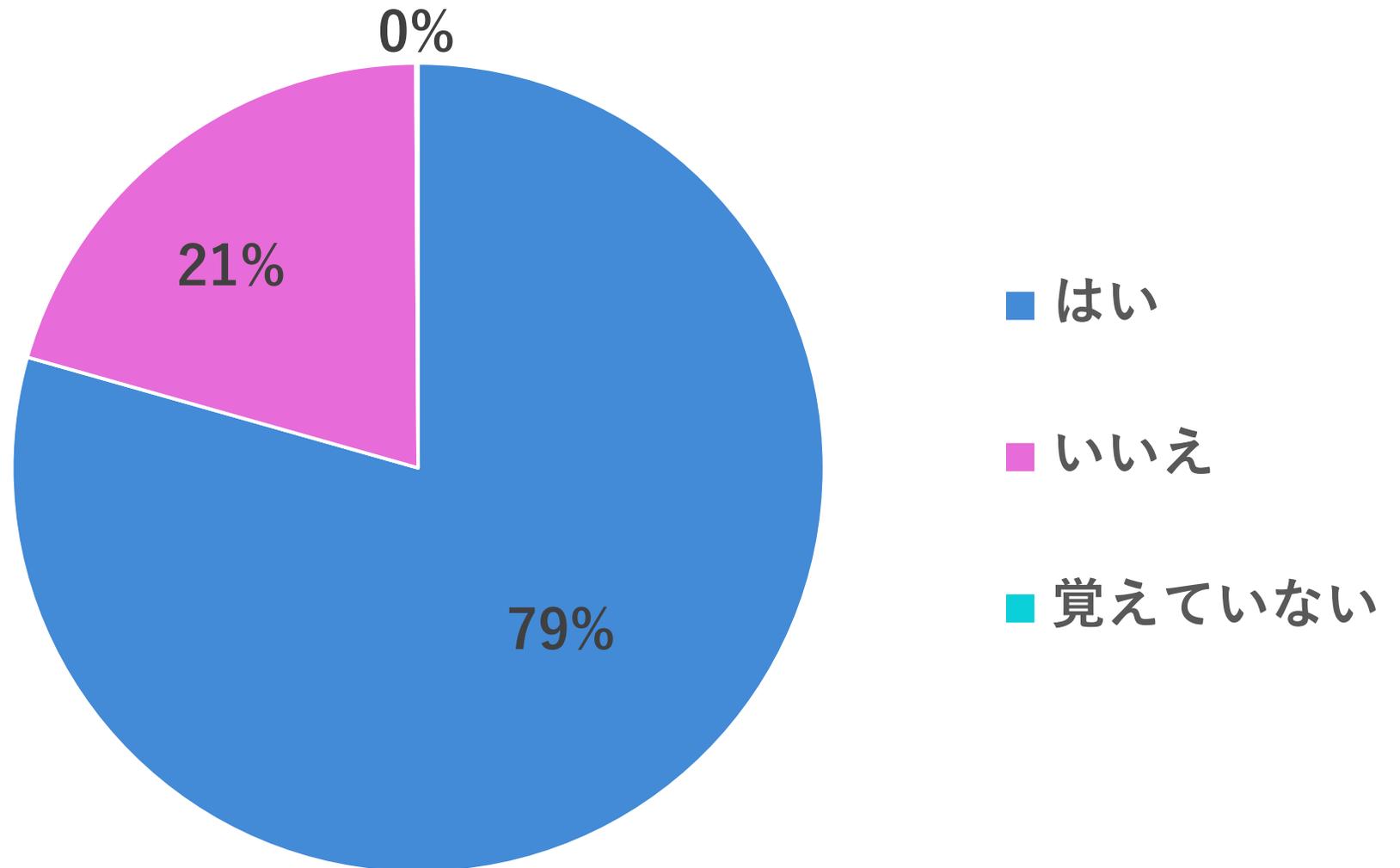
N = 1,117



## 7.治療を受けたのは居住地と同じ都道府県内の医療機関でしたか？

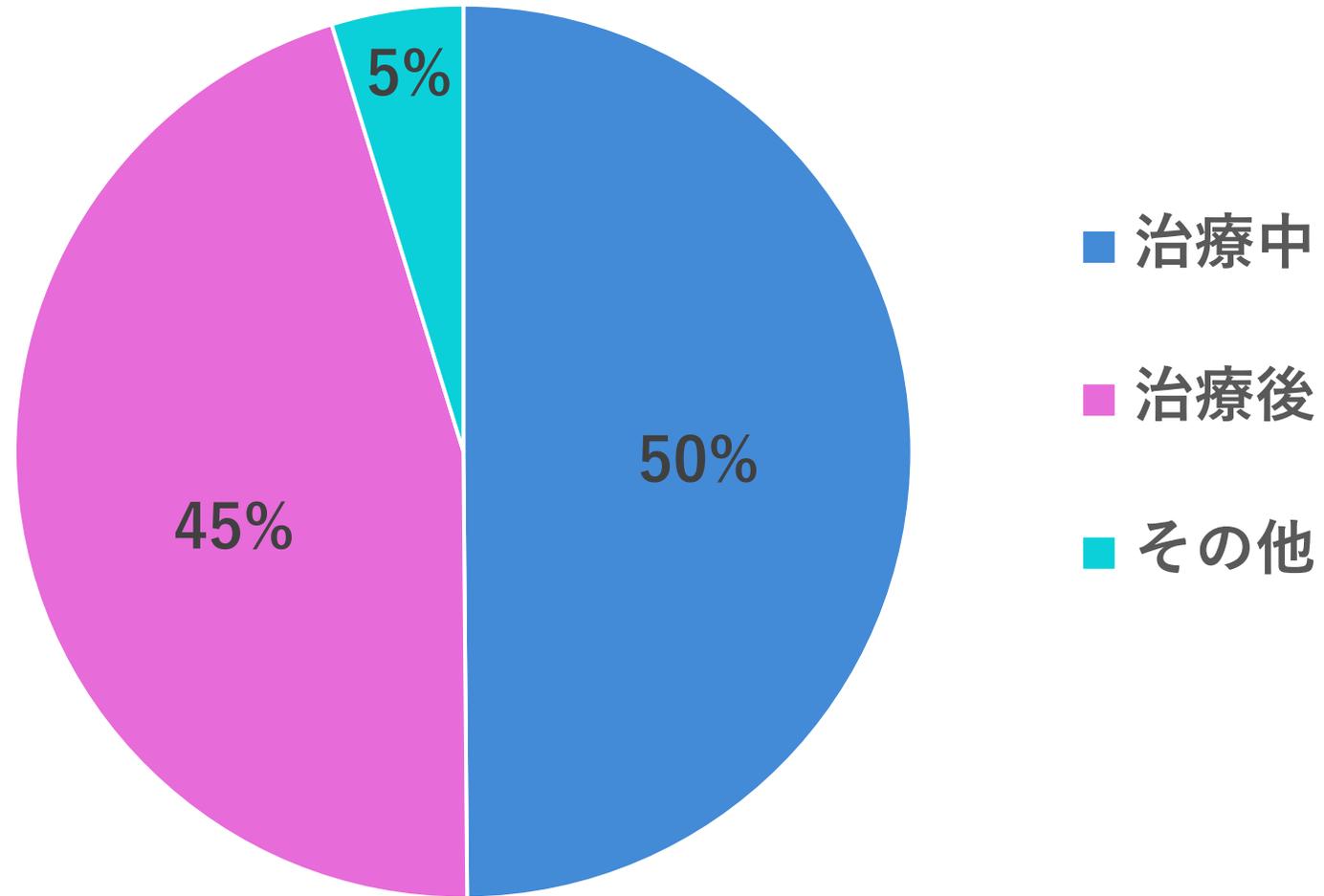
(複数の医療機関を受診した場合は主に治療を受けたほうを回答してください)

N = 1,117



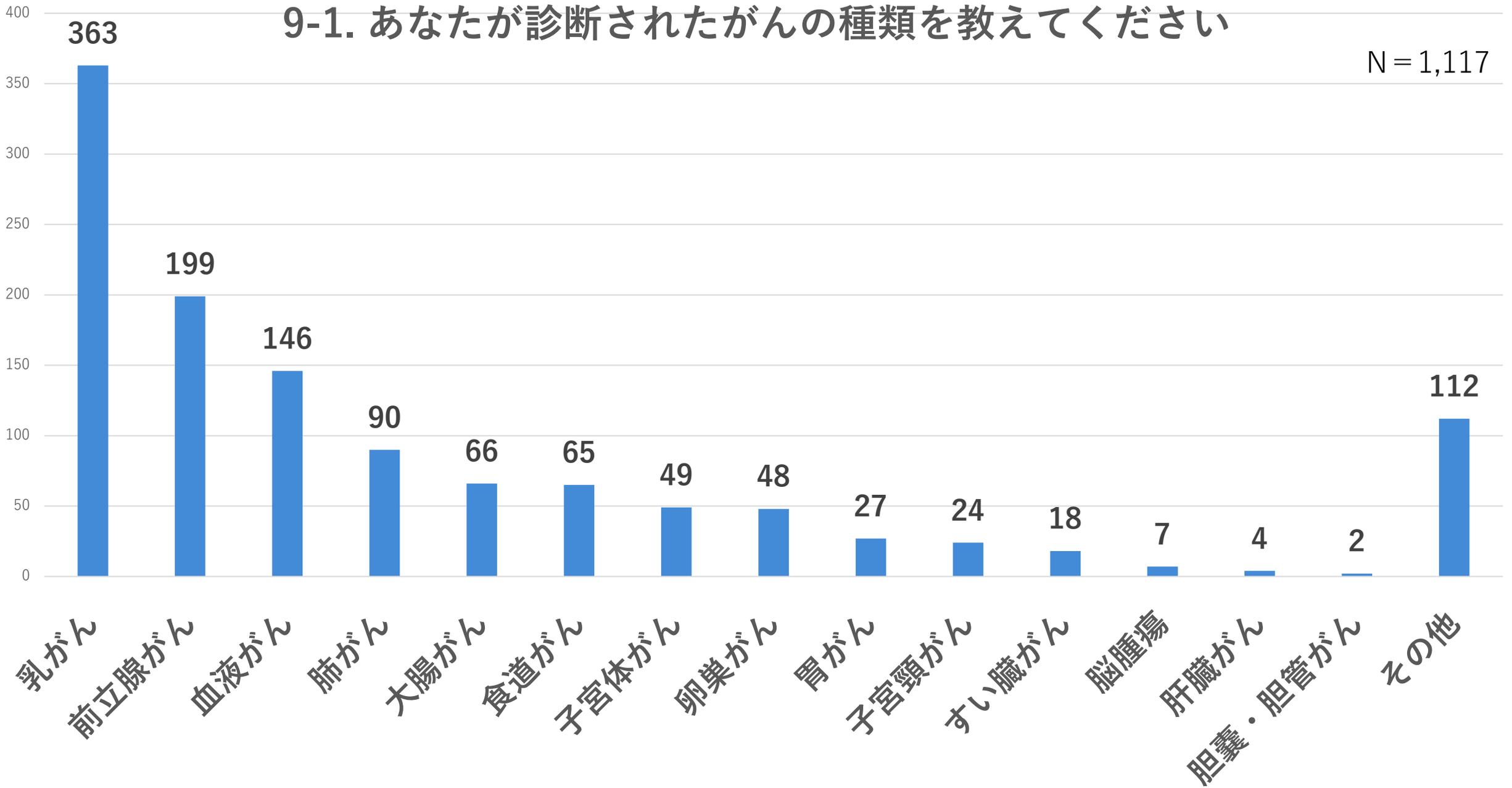
## 8-1. 現在の状況を教えてください

N = 1,117



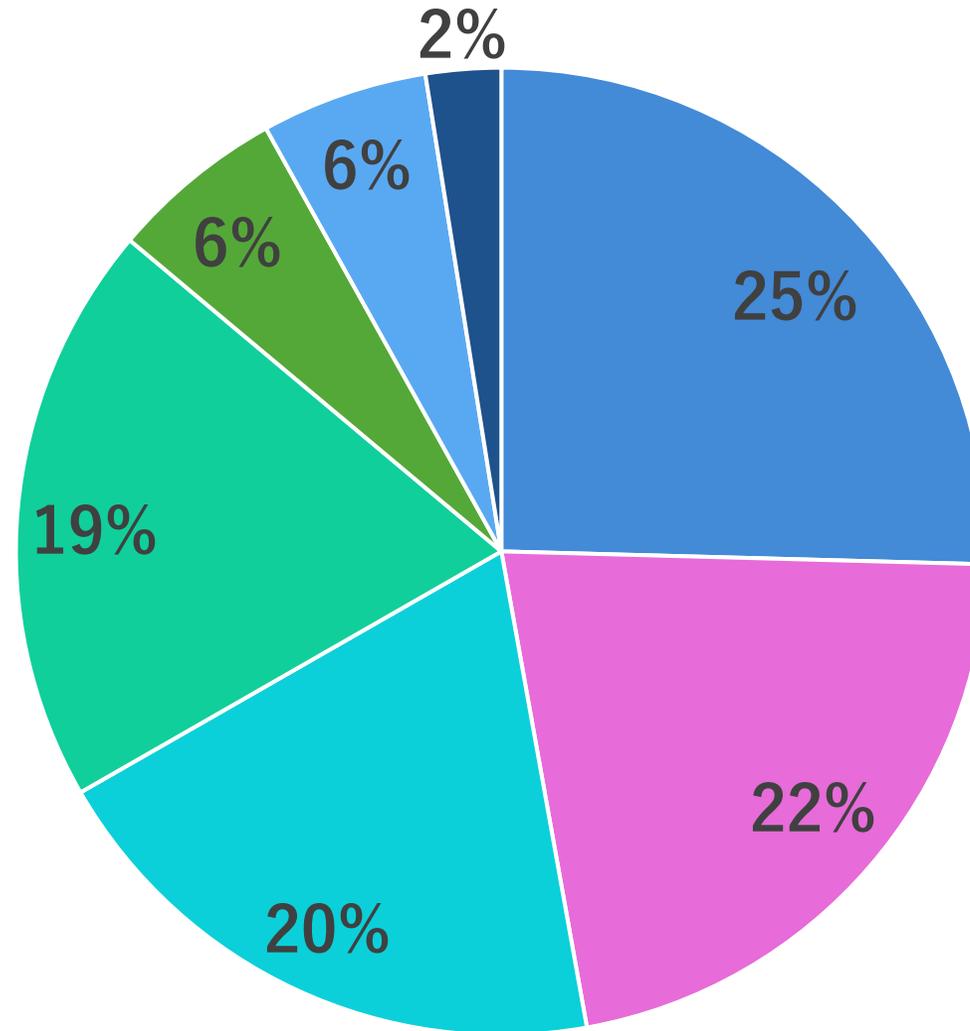
# 9-1. あなたが診断されたがんの種類を教えてください

N = 1,117



## 10. 診断時のステージを教えてください

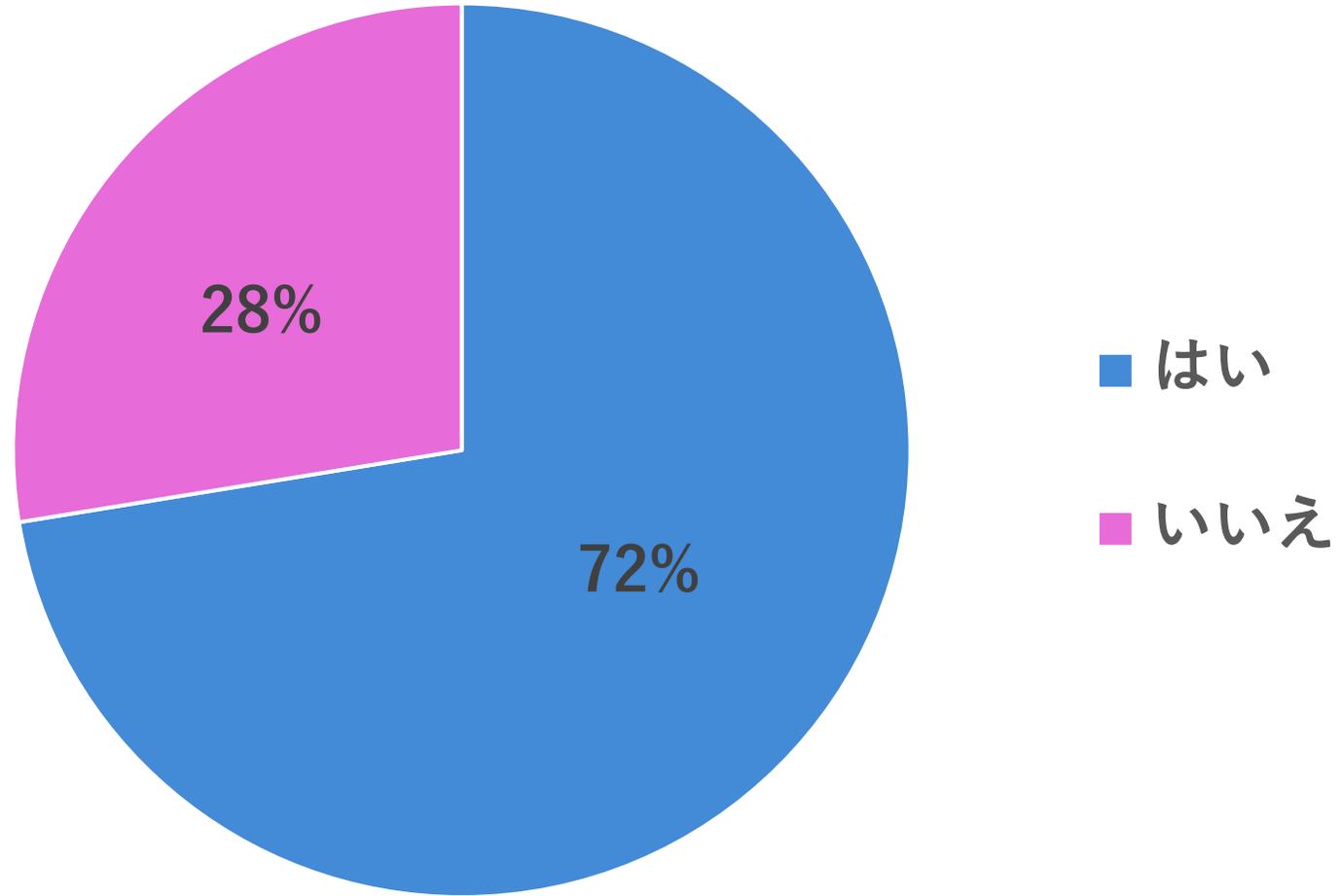
N=1,117



- ステージII
- ステージIII
- ステージIV
- ステージI
- ステージは無し
- 不明
- ステージ0

# 11. がん治療で手術を受けましたか？

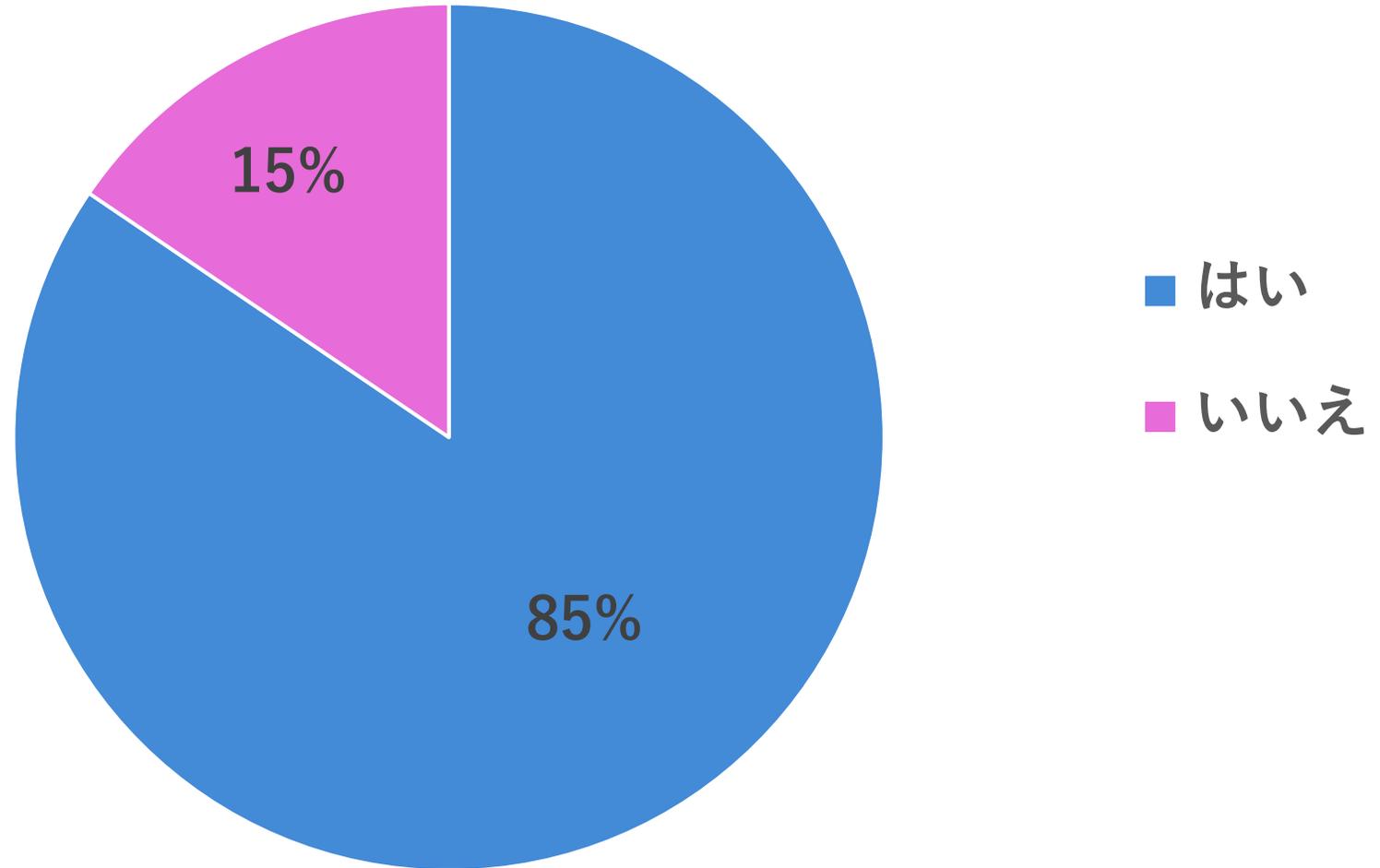
N = 1,117



## 12. がん治療で薬物療法を受けましたか？

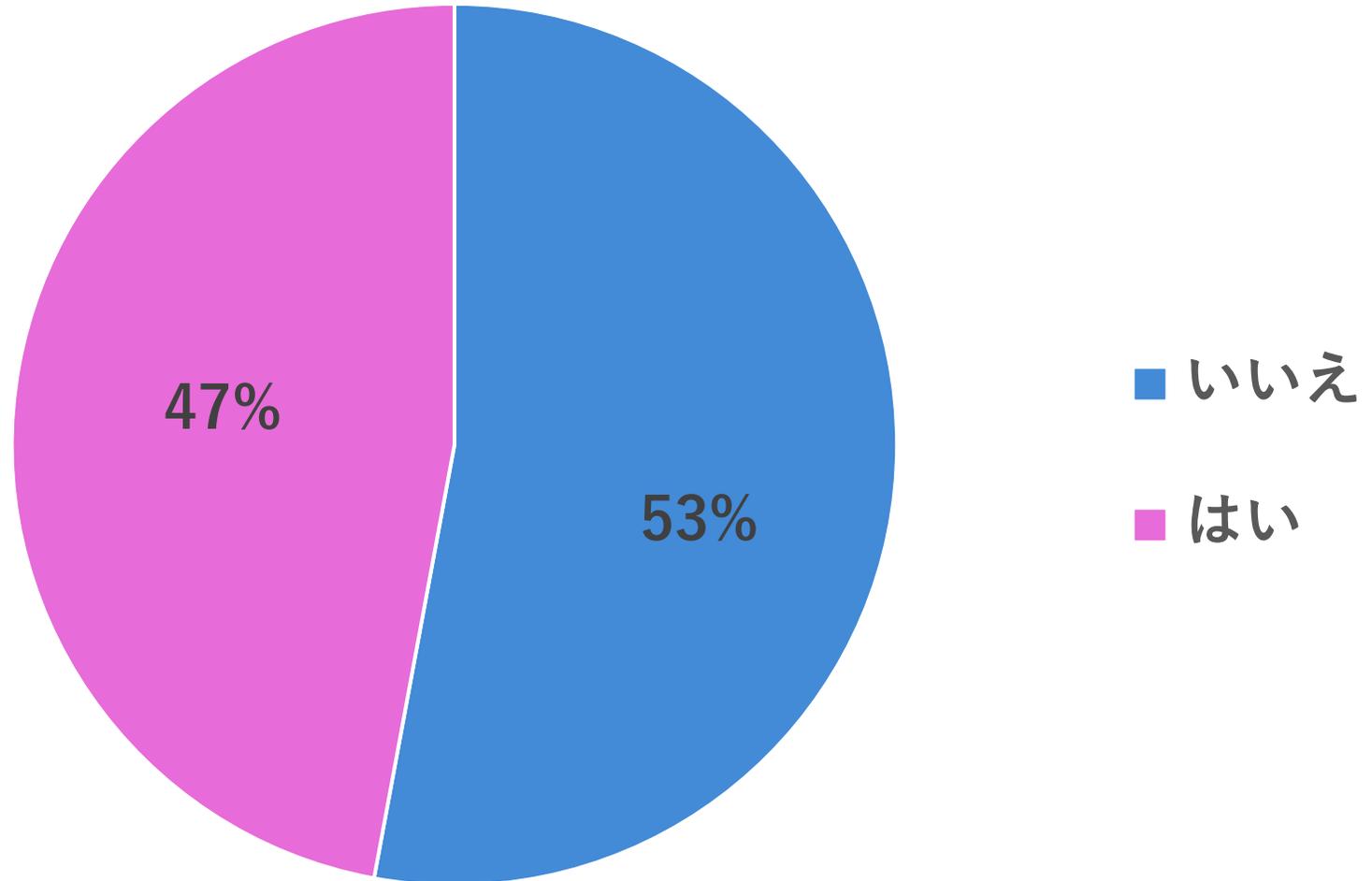
N = 1,117

(分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬、ホルモン治療等を含む)



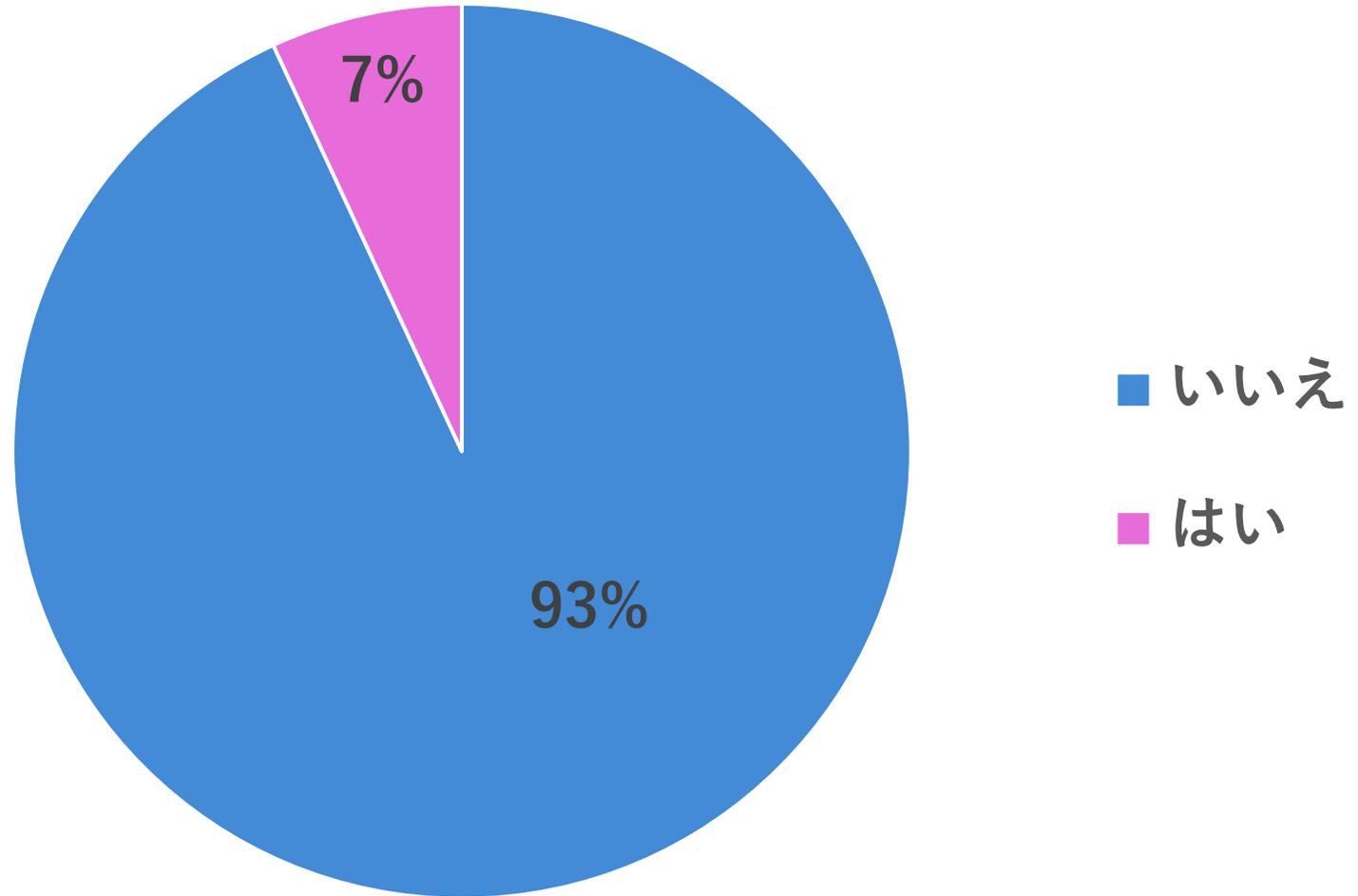
### 13. がん治療で放射線治療を受けましたか？

N = 1,117

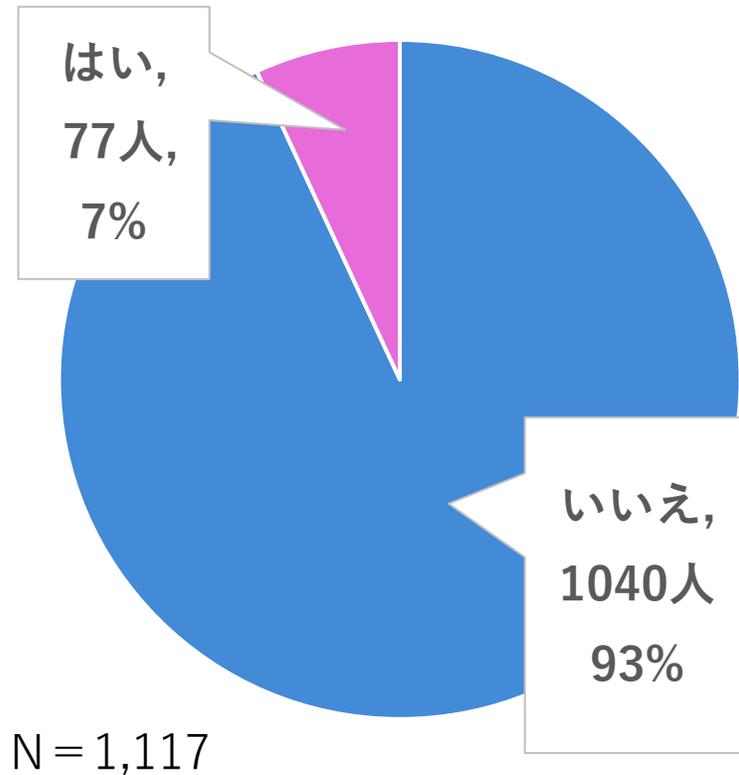


# 14-1. がん治療で保険が適用されない治療を受けましたか？

N = 1,117



## 14-1. がん治療で保険が適用されない治療を受けましたか？



具体的な金額を記入した回答者は49名で、平均金額1,534,082円。

最高額は700万で、樹状細胞ワクチン療法・ハイパーサーミアを受けていた。

### 【複数記載】

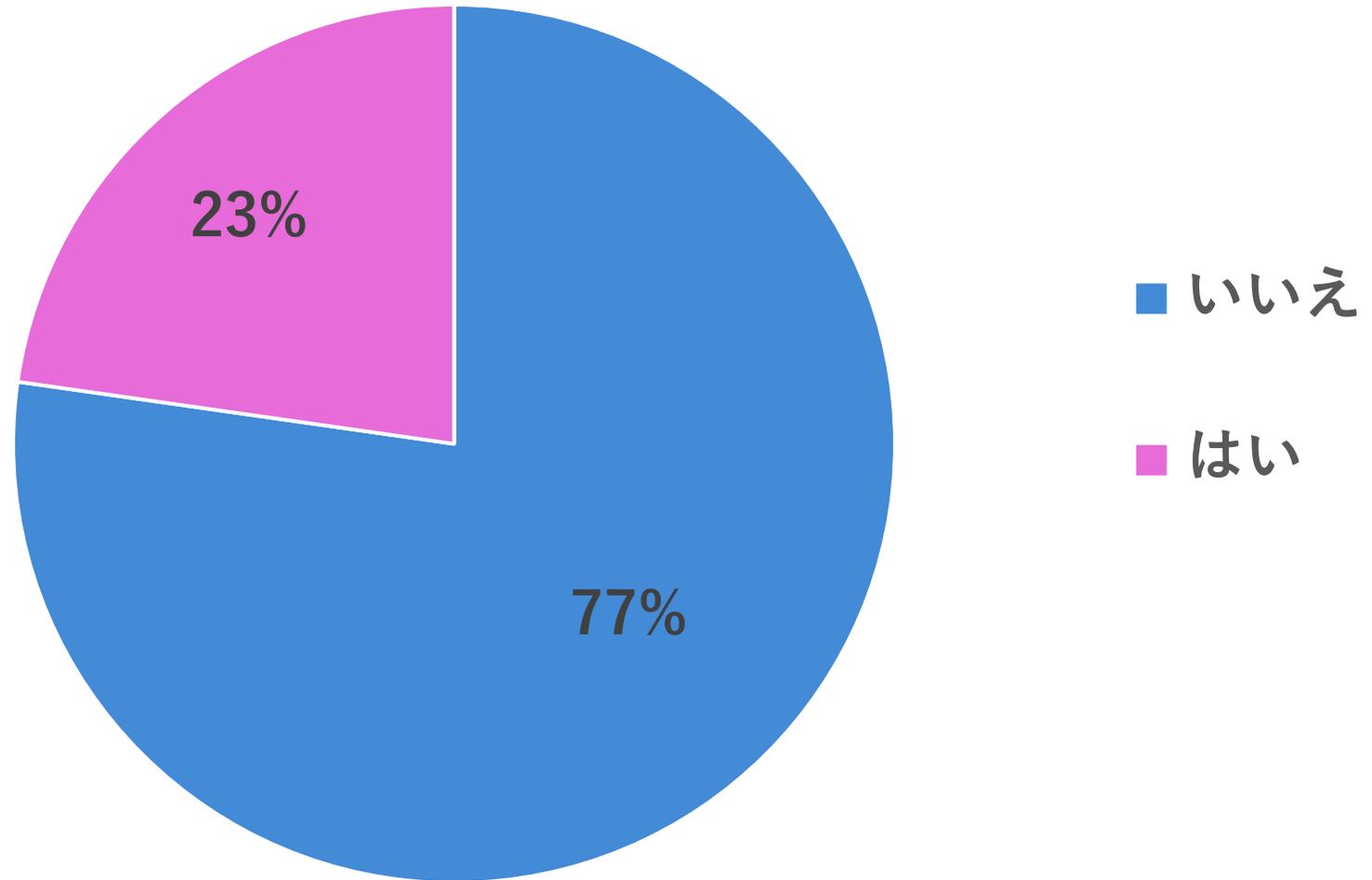
陽子線治療、重粒子線治療、遺伝子治療、免疫療法、集束超音波(HIFU：ハイフ)治療、高濃度ビタミン点滴

### 【その他】

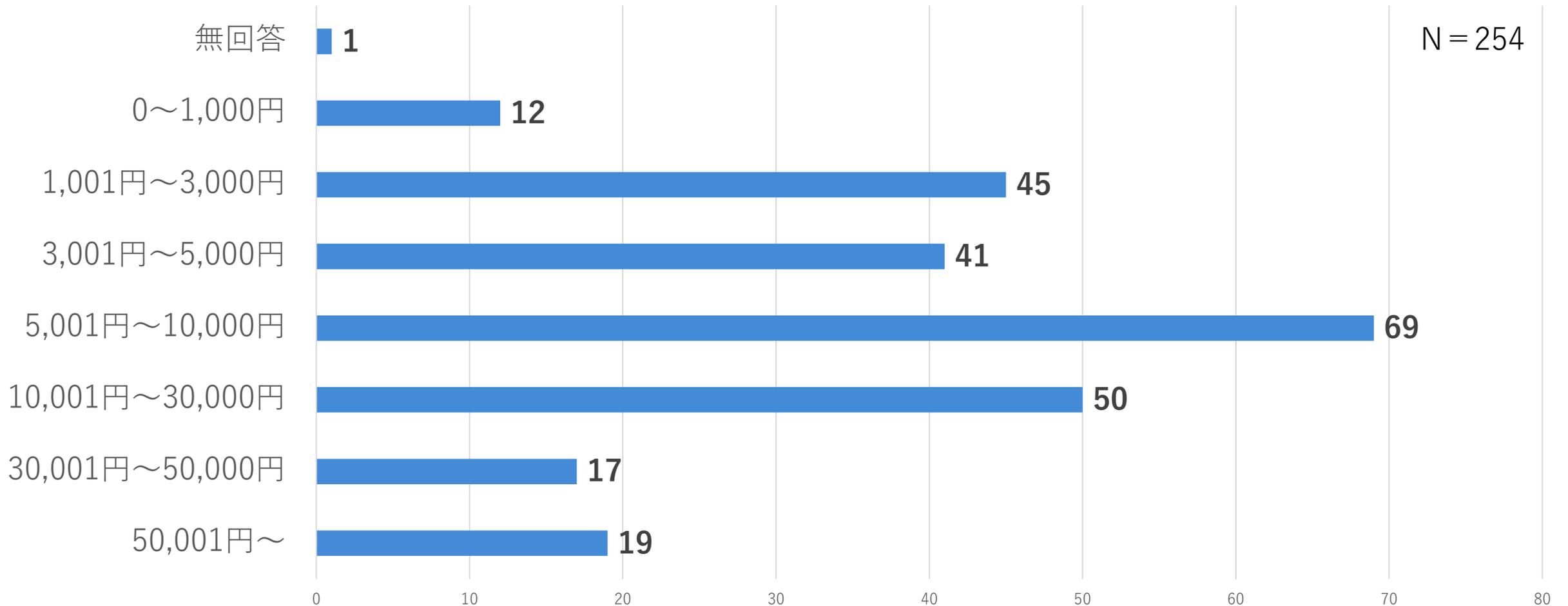
幹細胞脂肪再建、ホルミシス療法  
(低線量による放射線治)

15-1. がんの効果があるのではないかと  
健康食品やサプリメントを購入したことがありますか？

N = 1,117

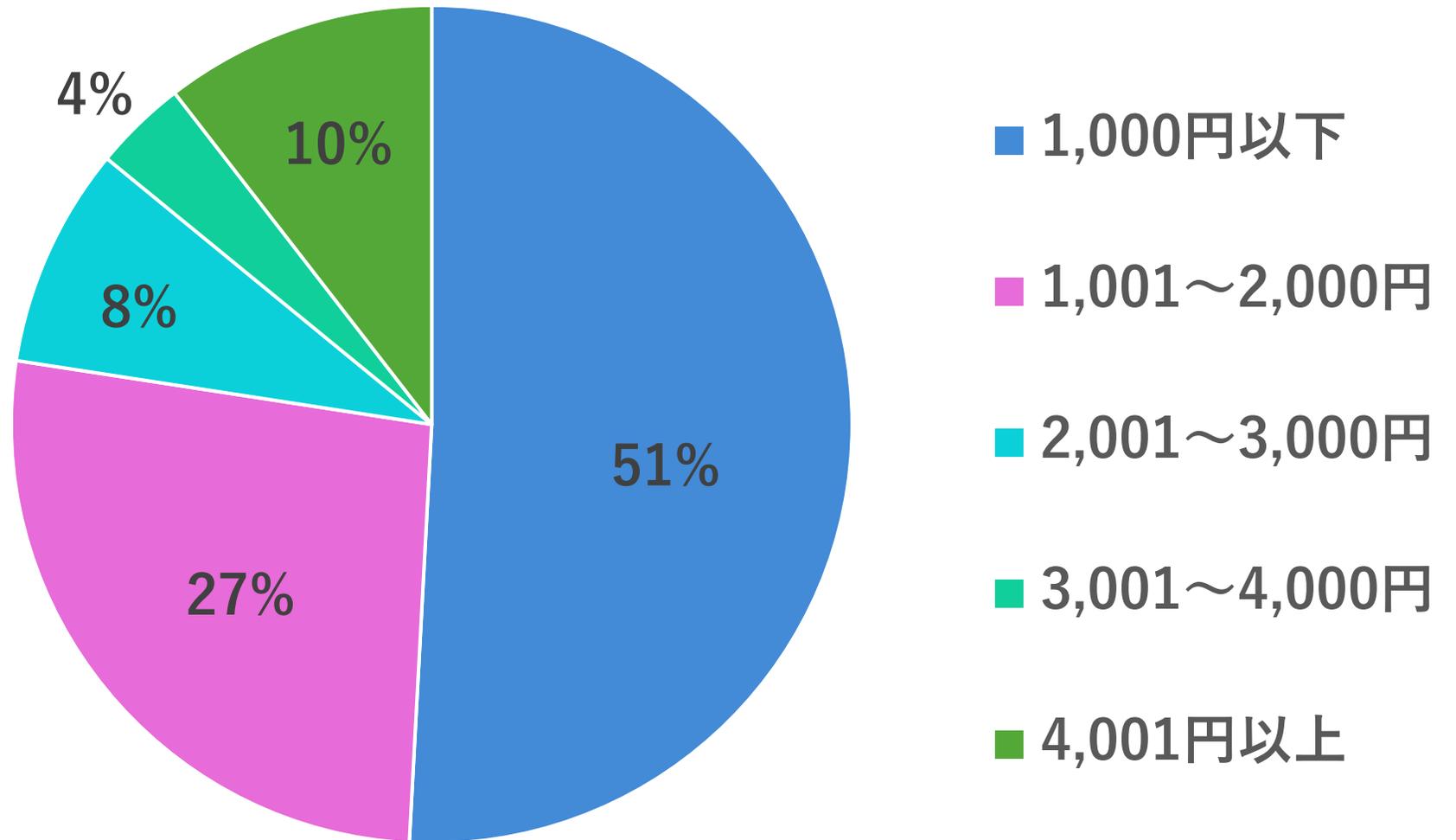


15-2. 上記の質問（がんの効果があるのではないかと健康食品やサプリメントを購入したことがありますか？）で【はい】と回答した方に伺います。そのために支払った月額はどのくらいでしたか？



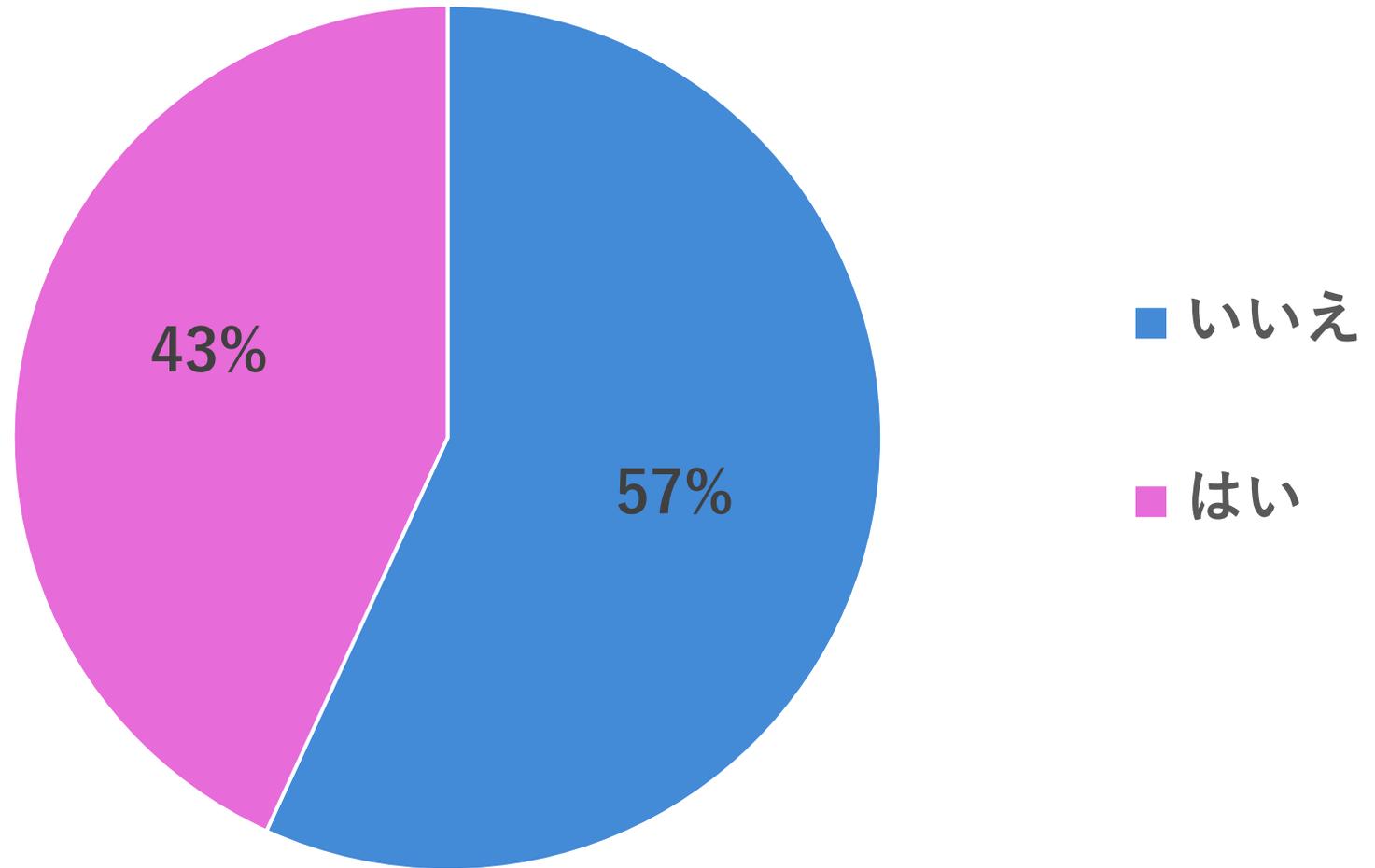
## 16. 通院のための往復の交通費はどのくらいですか？

N=1,117



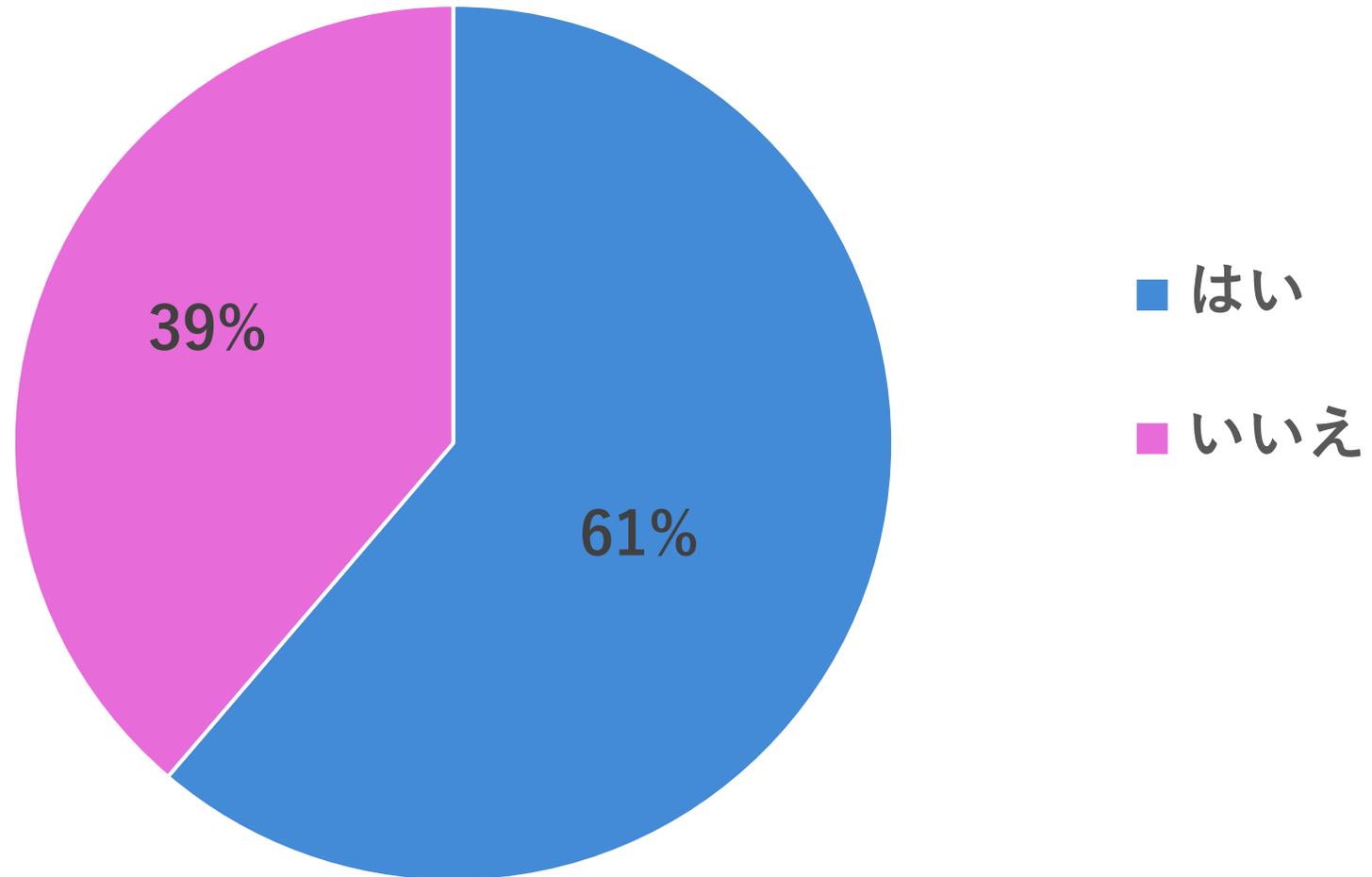
# 17. 通院のための交通費は経済的に負担だと思いますか？

N=1,117



18. がんと診断される以前より、預貯金や保険などで、  
がん治療へ対してお金の備えをしていましたか？

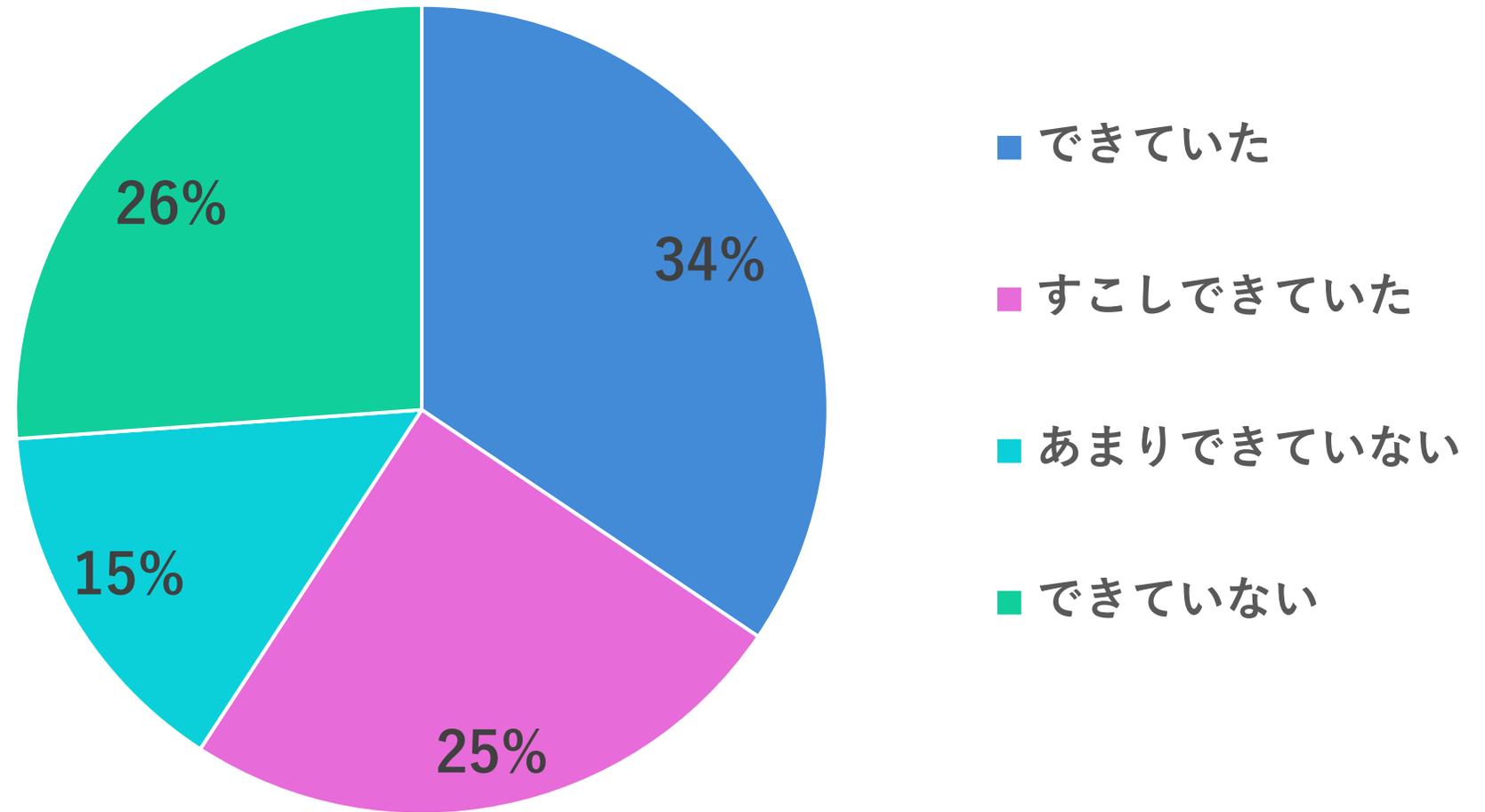
N = 1,117



## 19. がん治療を受けていても、

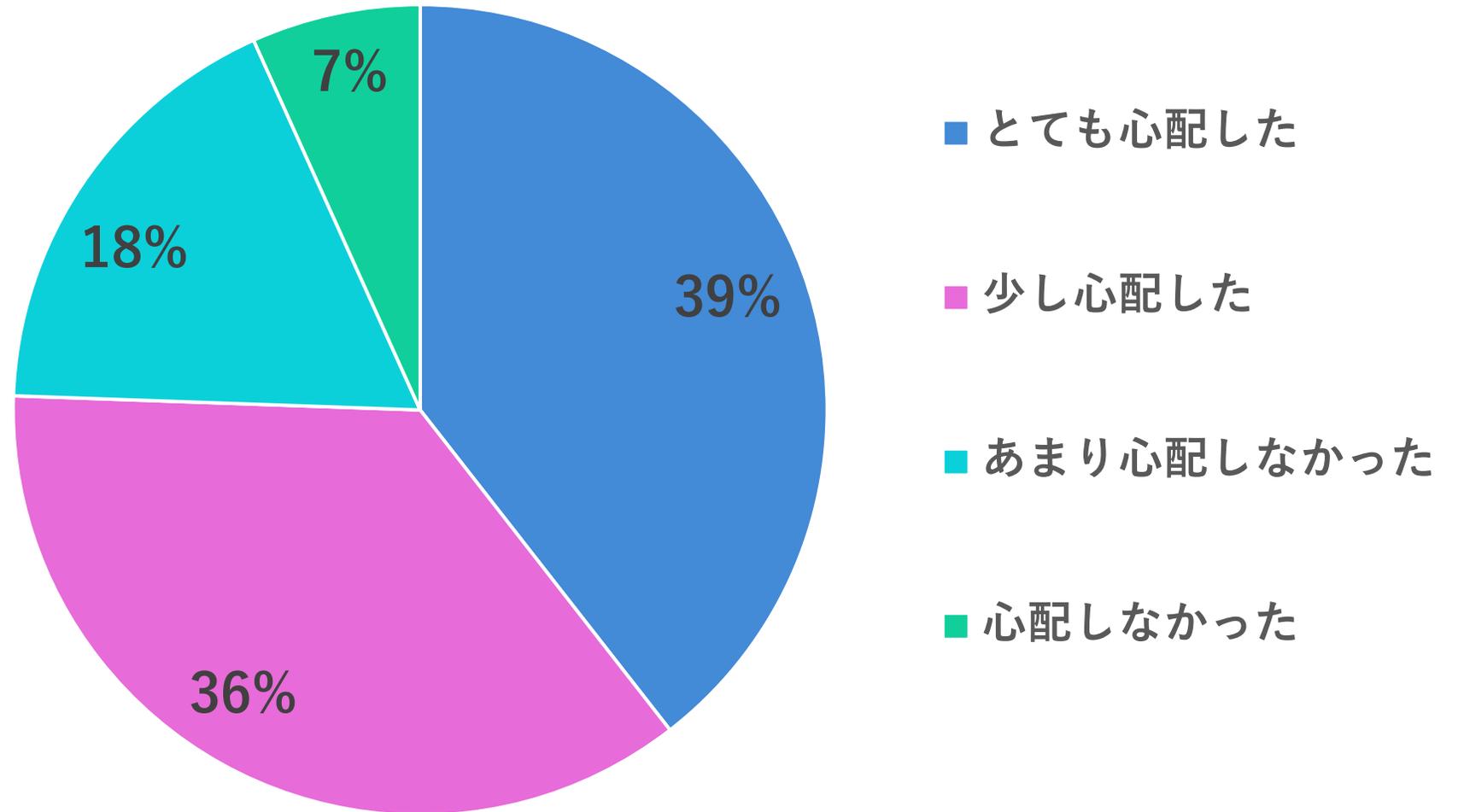
N = 1,117

### 診断前と変わらず会社や家庭で仕事できていましたか？



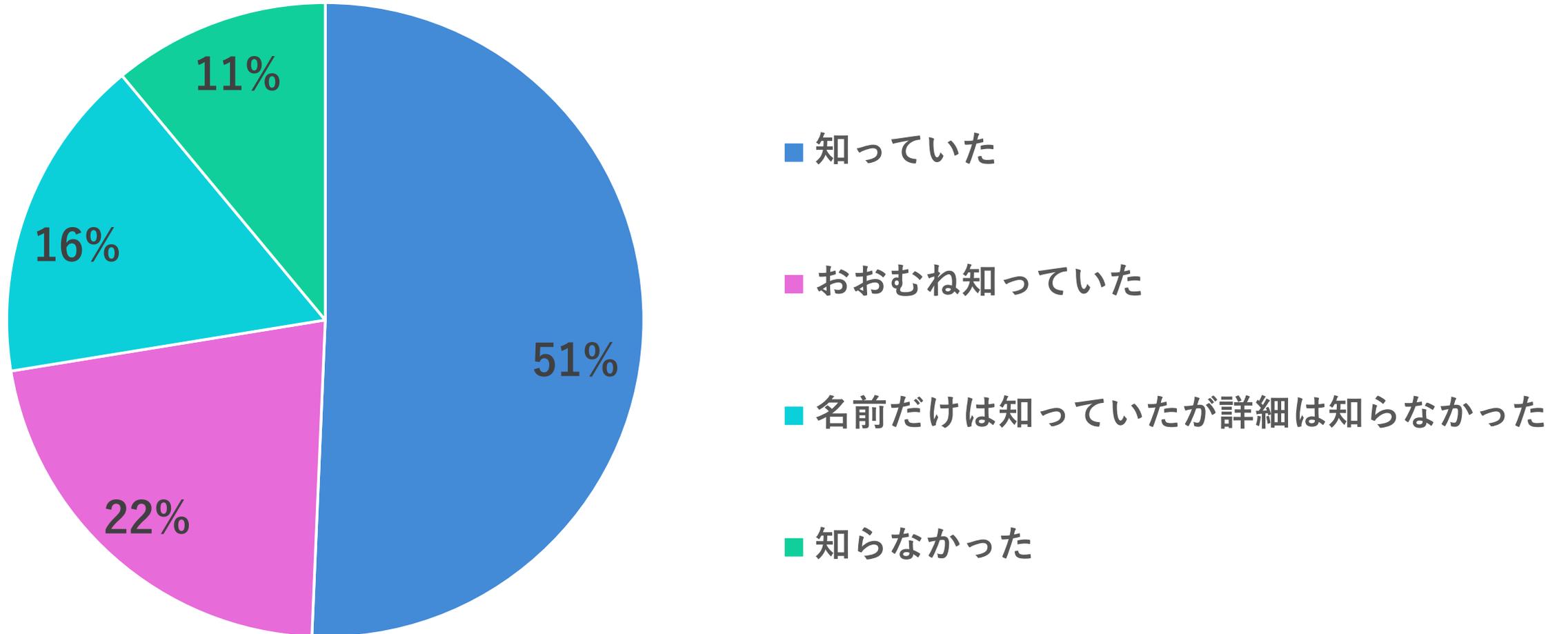
## 20. がんと診断された直後に、お金の心配をされましたか？

N=1,117



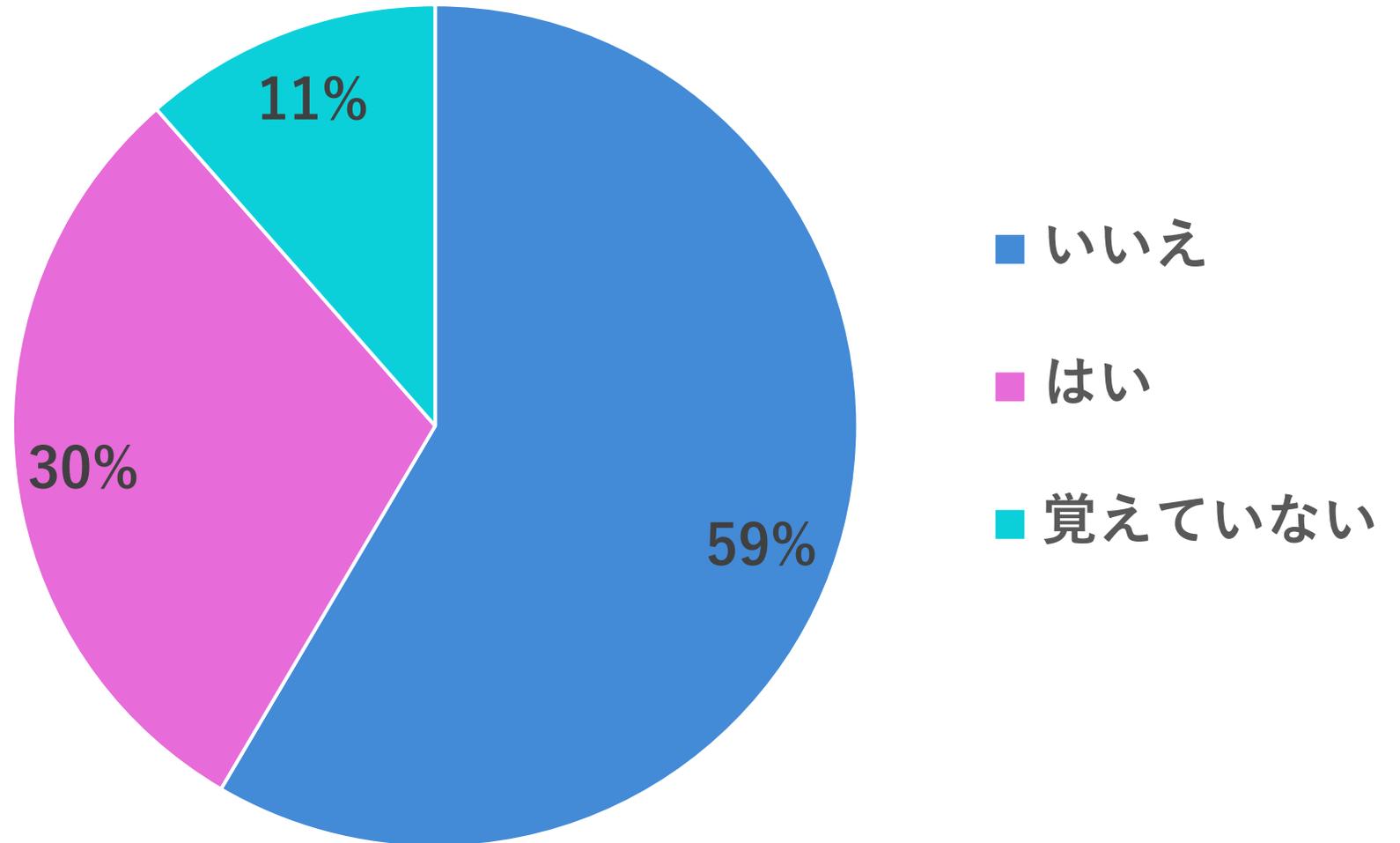
## 21. がんと診断されたとき、 高額療養費制度について知っていましたか？

N = 1,117



22-1. 【がん治療をはじめる前】に、  
医療者から医療費についての説明がありましたか？

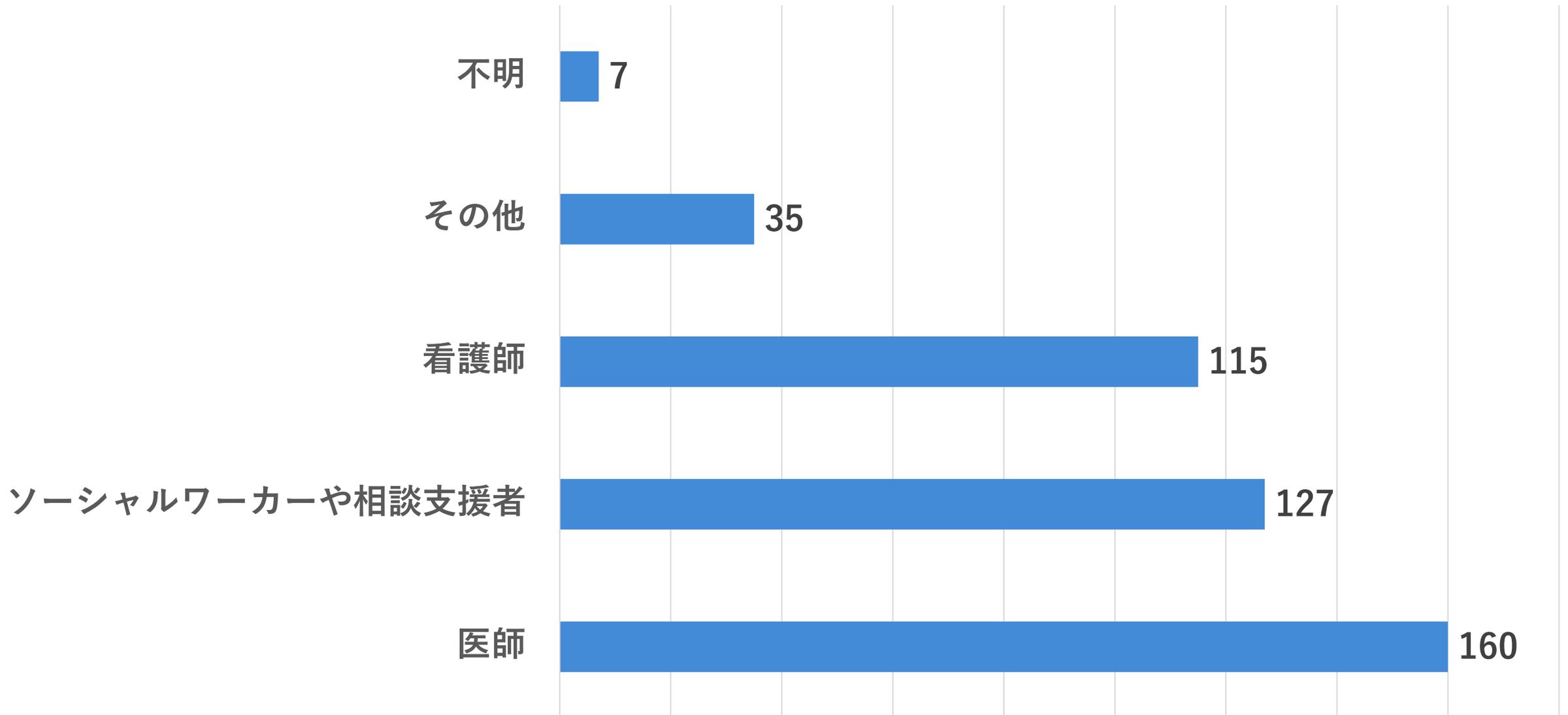
N = 1,117



22-2. 上記の質問で【はい】と回答した方へ伺います。

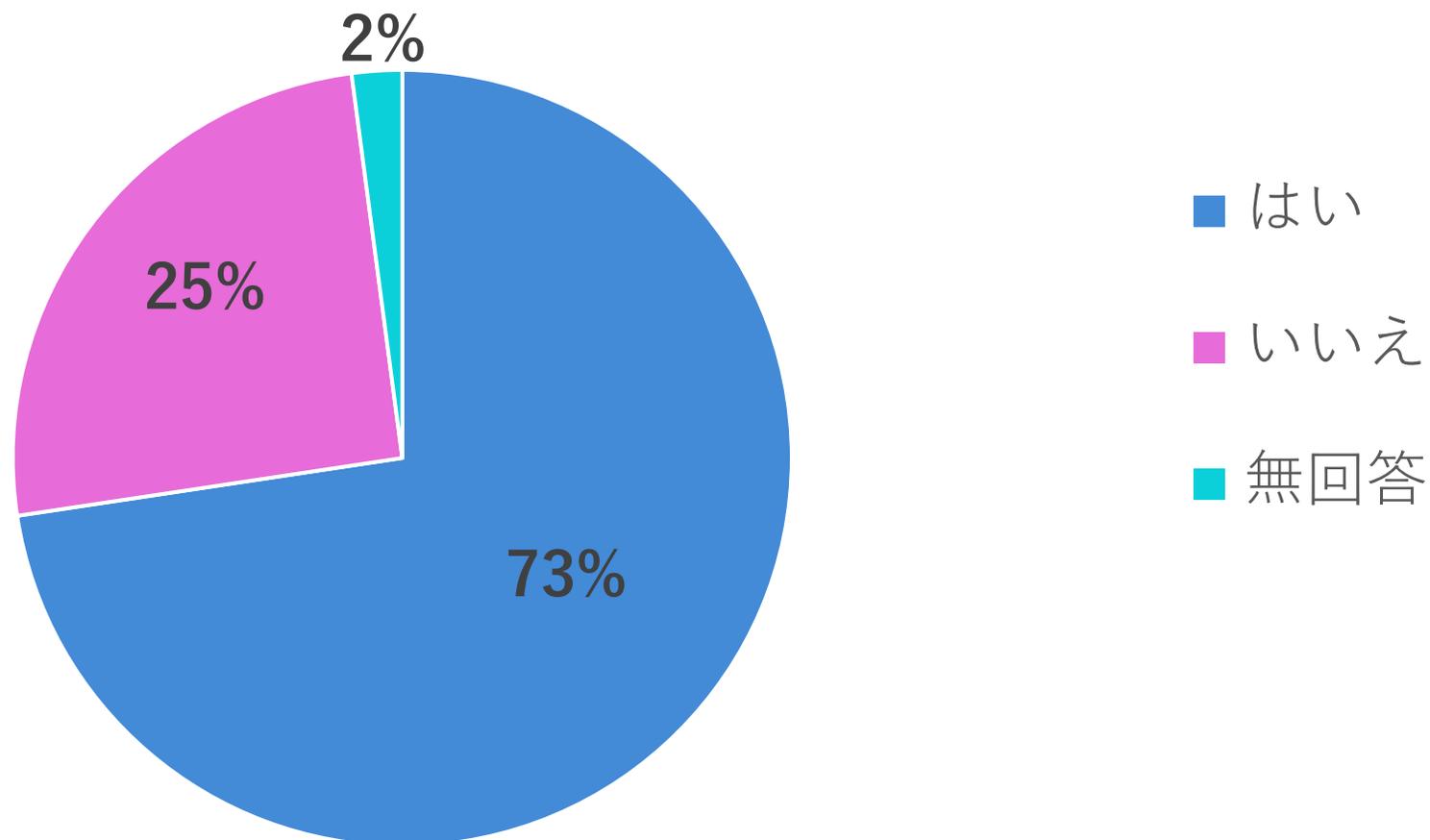
N = 336

説明をした医療者は次のうち誰ですか？(複数選択可)



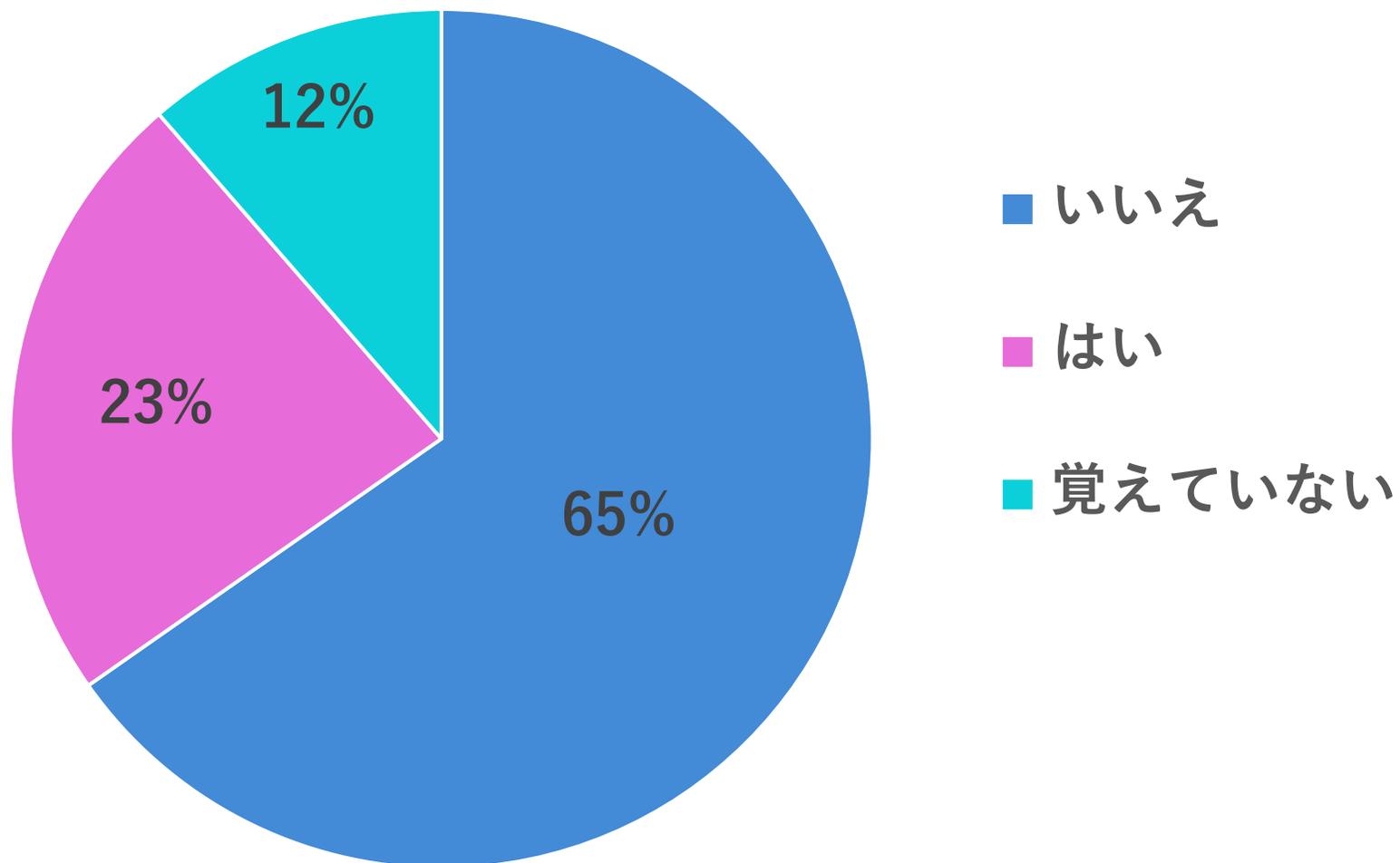
22-3 【がん治療をはじめる前】に、医療者から医療費についての説明がありましたか？で【はい】と回答した方へ伺います。

その説明は十分でしたか？



23-1. 【がんの治療中】に、医療者から  
医療費についての説明がありましたか？

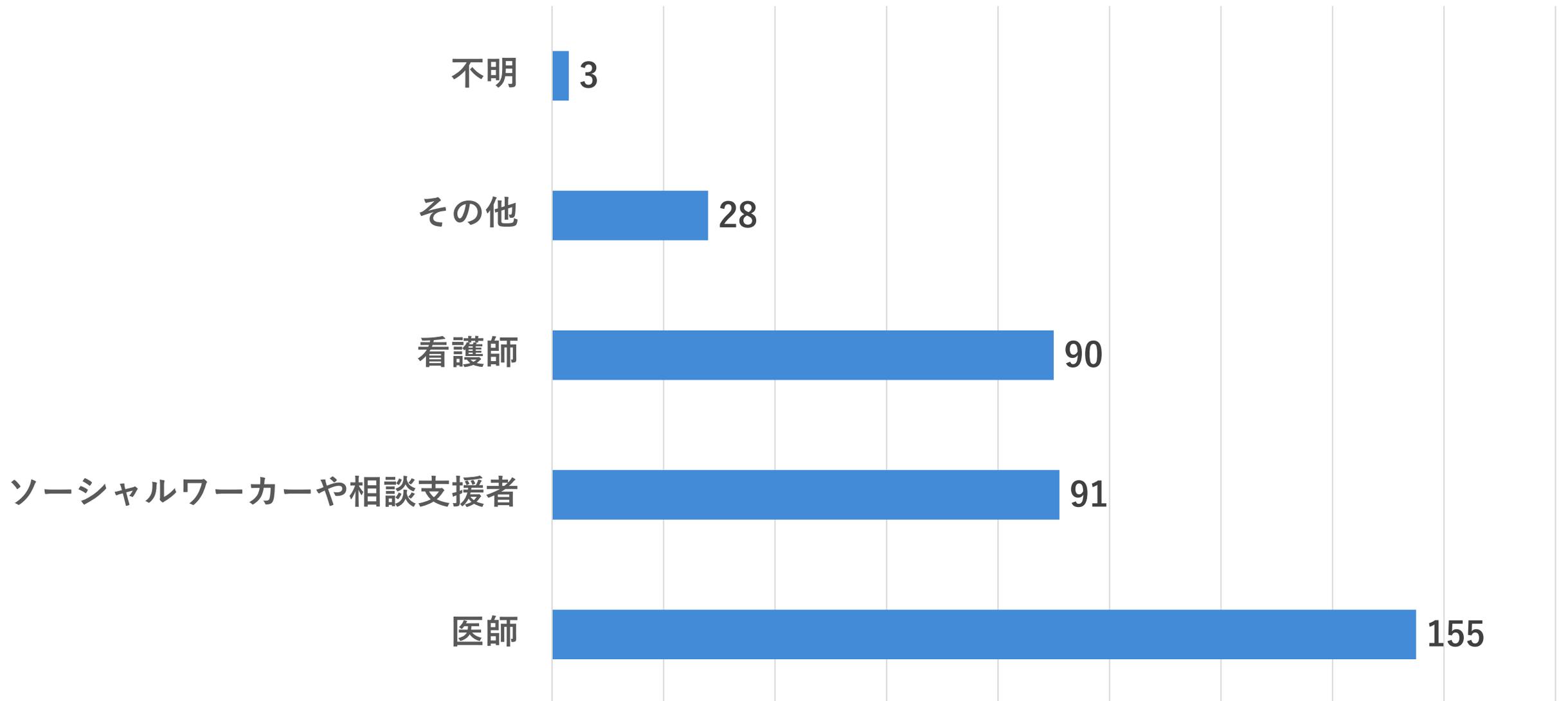
N = 1,117



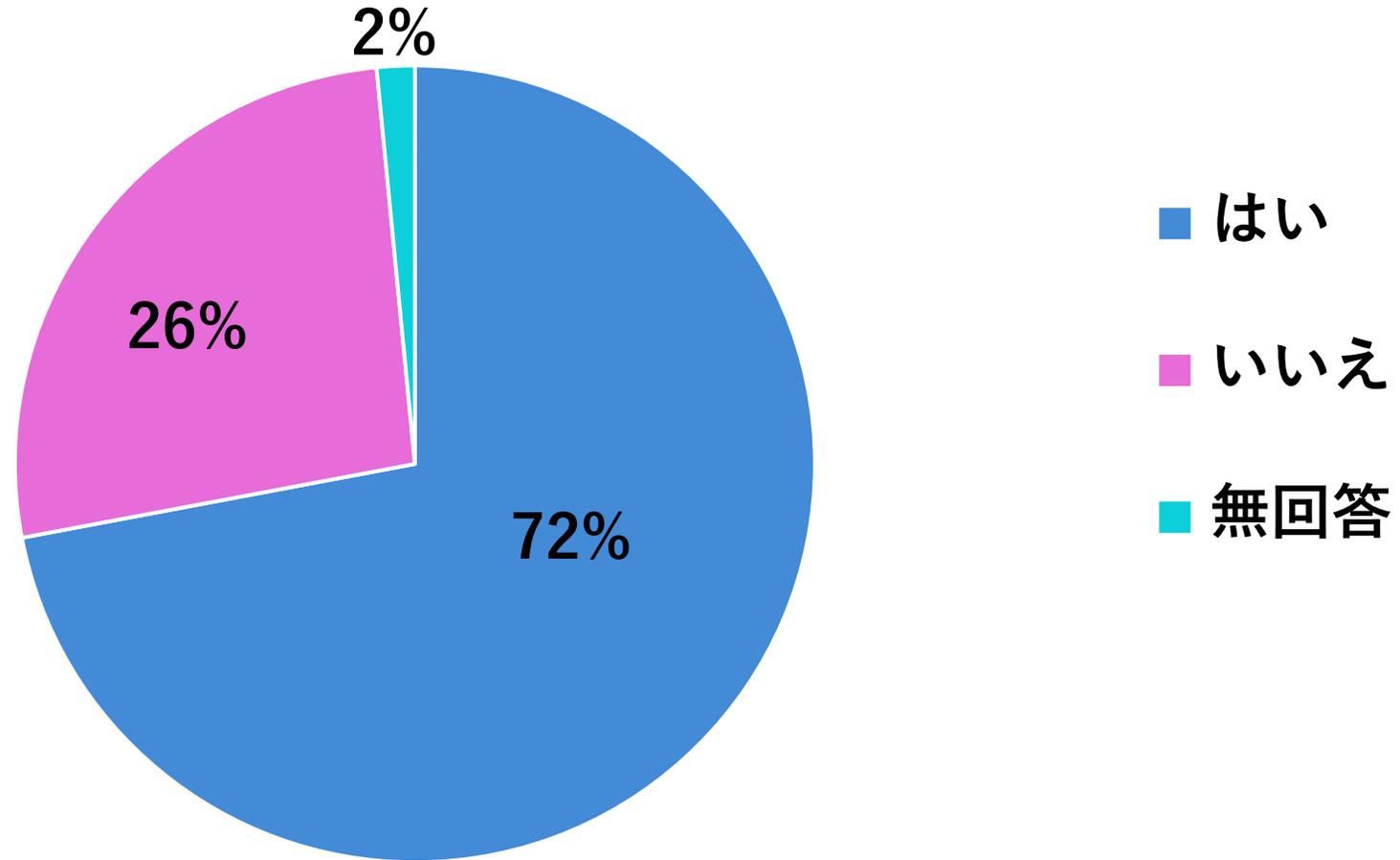
23-2. 上記質問で【はい】と回答した方へ伺います。

N = 261

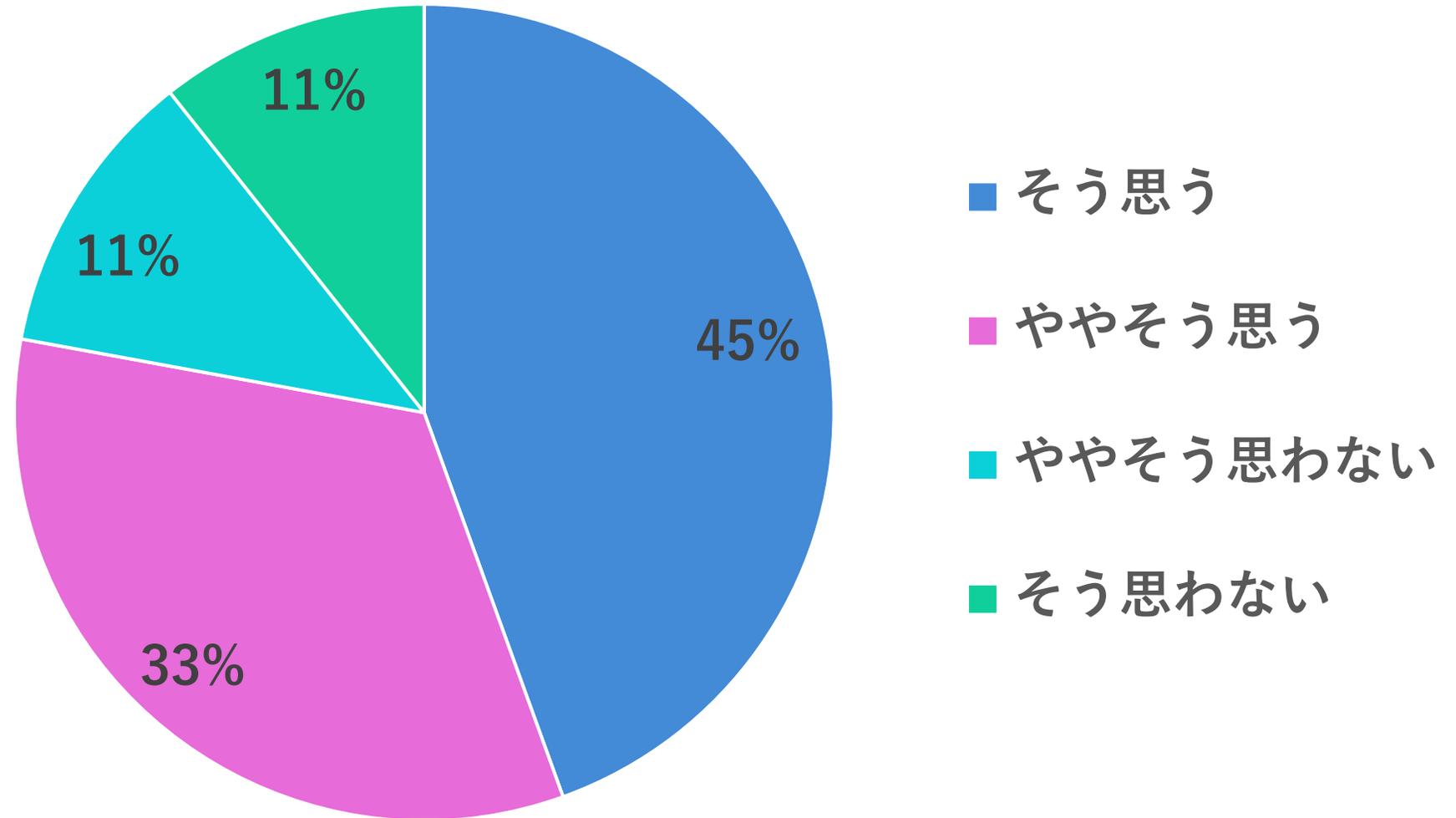
その医療者は次のうち誰ですか？(複数選択可)



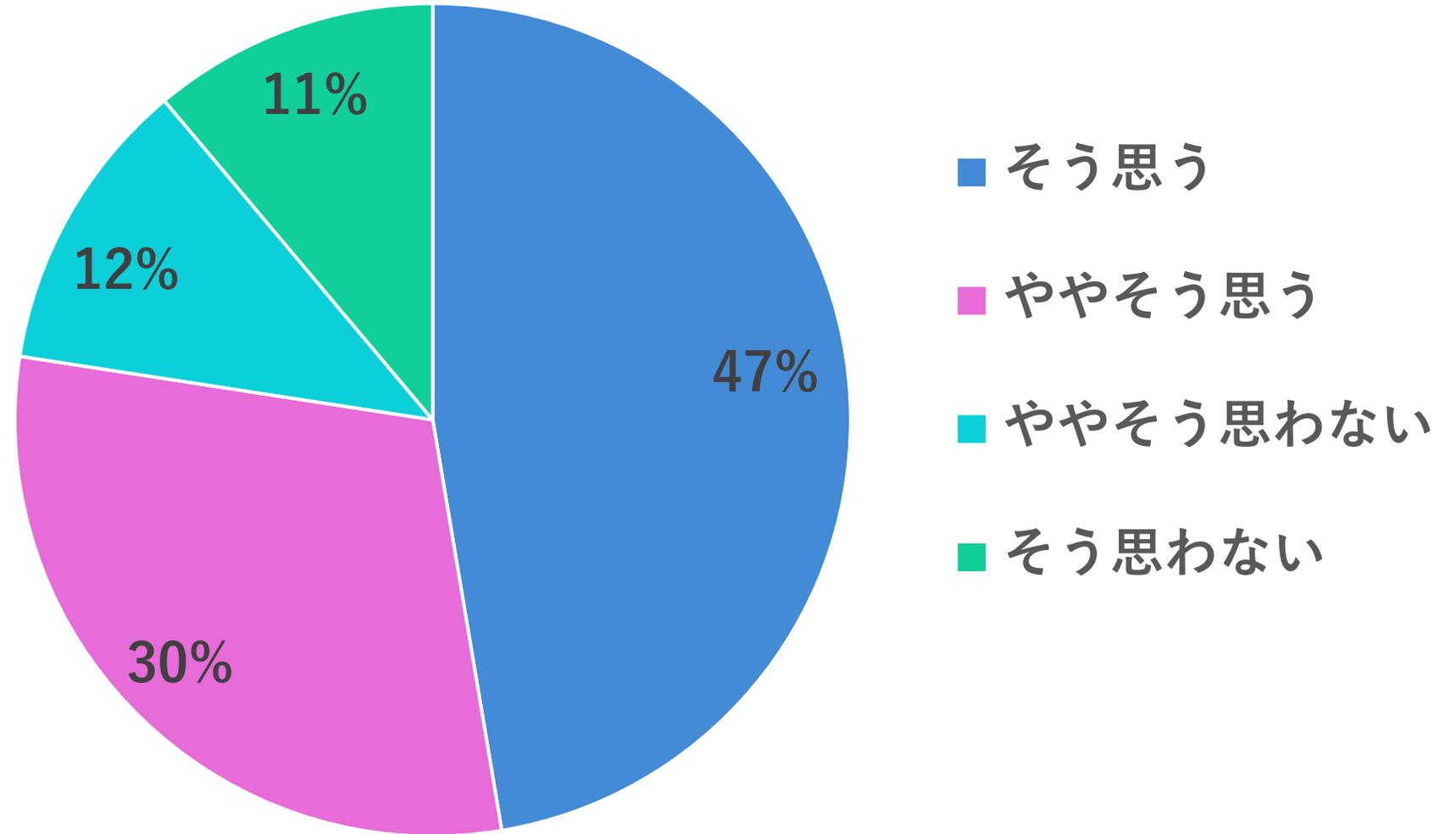
23-3. 23-1の質問「がんの治療中に、医療者から医療費についての説明がありましたか？」の問いで【はい】と回答した方へ伺います。その説明は十分でしたか？



24. がんの治療中、医療費が経済的負担だと感じていましたか？ N=1,117

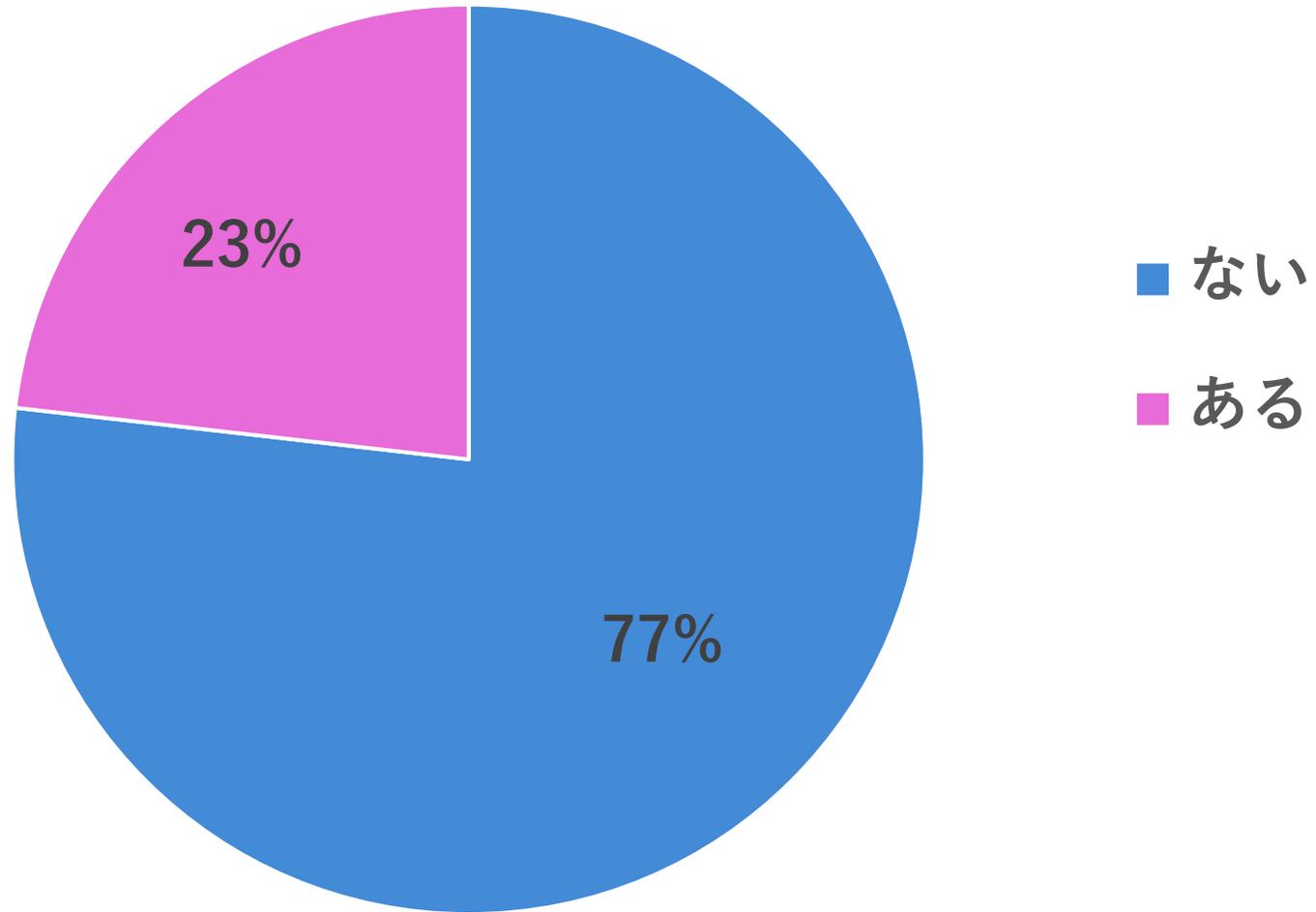


25. がんの治療中、経済的に先々が不安だと思いましたが？ N=1,117



26-1. がん治療中、経済的負担が原因で何かをあきらめたことがありますか？

N = 1,117



## 26-2 上記の質問（26-1. がん治療中、経済的負担が原因で何かをあきらめたことがありますか？）で【ある】と回答した方に伺います。差し支えなければ具体的に教えてください。コメント抜粋①

- ・諦めたというより、すべてにおいて節約した。冷暖房使わない、食品・日用品でも一番安い物を買う、少し時間はかかるけど電車賃が安い方法で行く。
- ・食費をけずるため、自分の食べたいものはへらしました。自分の服や靴など、被服費を最低限にしました。
- ・追加手術、術後補助化学療法を検討していたがそれによって体調が悪くなると、仕事に差し支えるため費用の捻出が難しくなるため諦めた。
- ・休職中だから出費は減らすべきという主人の考えに従い、格安スーパーで食料品を購入するようになった。
- ・治療費もあるから、たまにしかいかないランチ代も少しだけ抑えようとメニューを見た時に考えるようにした。
- ・妊孕性の温存、自身の結婚式の引き出物のランクを下げた、タクシーでの通院。
- ・オンコタイプ検査、遠方への帰省
- ・様々なことを諦めたが、当時保険適応になったばかりのハーセプチンの2年目が効果があると聞いたが、諦めた。
- ・大まかにかかる治療費を自分で調べて払えないと思って抗がん剤と放射線と注射を断りました。子ども3人の教育費を優先させるために、自分の人生を諦めました。
- ・諦める前に収入が減って色々と徐々にできなくなってきているつらさもわかってください。
- ・乳幼児2名子育て中にて(うち1名は全盲、知的障害等の障害児)ホームヘルパーベビーシッターなど家事、子育て支援
- ・あきらめないと経済的負担と認めてくれませんか？頼れる人がいなくてギリギリ何とかやっています。
- ・ウィッグ等の費用も必要だったので、スキンケア商品や洋服を買えなかった。
- ・在籍していた大学院を休学したかったのですが、休学の間学費の負担が大きく、将来的な見通しのたたなさから退学しました。退学しなければよかったです。

## 26-2 上記の質問（26-1. がん治療中、経済的負担が原因で何かをあきらめたことがありますか？）で【ある】と回答した方に伺います。差し支えなければ具体的に教えてください。コメント抜粋②

- ・貯金をほぼ全て治療中の医療費、諸経費税金等々の支払いで使ってしまったので、娯楽や資産運用ができなくなった。
- ・独り暮らし・欲しいものが買えない・行きたい所に行けない
- ・生活費を抑えるようにして、里帰りはお金がかかるのでやめました。旅行などはもちろん行きません。
- ・高額医療費でだいぶ戻りますが、それでも毎月の負担を考えると自由に使えるお金はなかなか厳しいです。常に諦めというか我慢です。
- ・働きたい意思はあっても職場の長が長期休む方向に話し持っていく、食費、日用品のランクを下げた。
- ・仕事を辞め生活保護にならざるを得なかった
- ・難聴のため補聴器購入を予定したが諦めた
- ・分子標的薬に抗がん剤プラスしたらもっと効くが保険の関係で抗がん剤は自己負担で1回百万かかります、出せますかと医師に言われた
- ・具体的に何を諦めたとかはないが、治療費がかかるので、お金を使いすぎないようにとか、高価な物の購入は特に慎重になった
- ・ウィッグを低価なものにし、専用下着などの購入を諦めた
- ・嗜好品、外食、旅行、お洒落、美容に関する物全て。本当に必要な物以外全て、子供が欲しい物も買ってあげられない。
- ・セカンドオピニオン、放射線治療、遺伝子パネル検査、オプチューン、免役療法、乳房再建、分子標的薬

26-2 上記の質問（26-1. がん治療中、経済的負担が原因で何かをあきらめたことがありますか？）で【ある】と回答した方に伺います。差し支えなければ具体的に教えてください。（まとめ）

多かったkeyword	数
旅行	55
趣味	36
食事・外食	31
家	23
子供・娘・息子	17
治療	16
車	14
仕事	8
ウイッグ	4

【複数あった回答の内容】

- ・ 家族や友人との旅行を諦めた。海外旅行をやめた。
- ・ 趣味をやめた。経済的な理由で継続することを諦めた。
- ・ 食費を切り詰め、家族や友人との外食をしないようにした。
- ・ 自宅を売却した。住宅の購入やリフォームを諦めた。家賃の安い所に引越した。
- ・ 子供の習事や塾をやめさせた。費用の問題で希望する進学先を諦めさせた。
- ・ 治療を諦めた。薬価が高い薬の使用を断念した。
- ・ 車を売った。車の買換えを諦めた。軽自動車に変えた。
- ・ 退職した。発病前と同様に継続することができなかった。
- ・ ウイッグを安価なものにした。購入できなかった。

## 27. がん治療中、経済的な負担によって、起きた悪影響がありましたら、具体的に教えてください。抜粋①

- ・働けなくなっていて、給料がなくなっていて、貯金を崩している。
- ・固定費は変えられないので、貯蓄と変動費を医療費にあてるしかありませんでした。
- ・精神的に不安になり睡眠不足になった。
- ・医療費をクレカのリポ払いを行った。がん再発の不安と将来の経済的不安が重なりとても毎日がストレスです。
- ・再発までの間は介護福祉士として働いていて夜勤もあり、自家用車がなくては通勤出来ない職場でもあった事から、普通車を売って軽自動車の中古に切り替えました。
- ・定期預金解約して治療費にあてた
- ・高精度のPSMA-PET検査は自費診療であり、何回も受けるわけにはいかない。
- ・保険には入っていますが、入ってくる金額が少ないために、親に援助してもらって申し訳ない気持ちになる。
- ・入院時にデポジットの為に10万円を病院に納めなくてはならなかったのですが、入退院を繰り返しての治療だった為に自転車操業のような感じで治療を回して工面していたのが一時追いつかなくなり、治療を先延ばしにした事がありました
- ・高額療養費制度を利用しても毎月限度額を支払うため、精神的苦痛が大きい。
- ・貯金がなくなるなら、子どもへ残すことも考えて、治療を断念しなければならないときが来るのではと考えている。
- ・食事が簡素なものになった、家の購入を諦めた、車購入を諦めた、貯金を切り崩す生活になった
- ・老後資金を取り崩した。余暇にかけるお金を減らした。
- ・母から経済援助を受けました。
- ・セカンドオピニオンの費用、相談支援センター、相談施設等に行くまでの交通費、ガイドラインなどの治療を検討するための書籍を購入する費用、などが負担だった。

## 27. がん治療中、経済的な負担によって、起きた悪影響がありましたら、具体的に教えてください。抜粋②

- ・いろいろ相談したり、調べたりした結果、仕事を休むと治療費が捻出出来なくなる不安もあり、追加手術、術後補助化学療法を検討していたが諦めたような部分もある。
- ・今のところ再発なく、結果良かったのかもしれないが、お金に余裕があり、仕事も十分に休める環境があったら術後補助化学療法は受けていたと思う。そのため十分な医療を受けてられていないのではないかという不安がずっとあった。
- ・本来は生命保険(貯蓄型)としていたものを解約した
- ・預貯金減少による不安、趣味や余暇を楽しむ余裕が無くなった
- ・教育関連（塾、通信教育など）やめた
- ・治療費を出すために、厳しい仕事を続ける必要性があった。
- ・子供達の学費貯蓄の切り崩し
- ・コロナ禍にも突入し、半年近く抗がん剤を服薬。28日分で34000円に装具の費用や、関連費用、子供の就職準備費用、出稼ぎで東京にいるから、仕送り費用など自分の生活費を削ってもおいつかず、仕事をして、わずかな給料、足りるわけなく借金生活。
- ・一人暮らしがままならないので実家へ帰ります
- ・診断時、子供が幼く、常に将来への金銭的な不安があり、お金のことで夫とぶつかったりしていた。しんどくても無理してでも働くしかなかった。
- ・がん保険に入っていたが、最新のものに変更していなかったもので、対象外といわれた。何のためのがん保険かと思った。
- ・年老いた母親の引き取りを諦めた（引き取るために引っ越し等が必要で経済的に厳しくなったので）
- ・治療途中で、薬をジェネリックに変更した。
- ・子どもの就学において援助を行政より受けるため、その手続きにおいて多少なり子どもに心労をかけたと思う。

## 27. がん治療中、経済的な負担によって、起きた悪影響がありましたら、具体的に教えてください。抜粋③

- ・配偶者との仲が悪くなった。離婚した。
- ・治る見込がないならすぐに治療をやめてしまおうと考えた
- ・子供の学習費用を削った。
- ・貯金を切り崩したり、両親に負担をお願いしたりした
- ・仕事が出来ず収入がないので傷病手当を申請しましたが14万の金額に対して5万円の社会保険料等払ったら9万の为消费者金融に借金して生活しました。
- ・状況を知った高齢の親が治療費を援助してくれており、親に負担をかけている。
- ・体調が悪ったが、パートを始めた。ホルモン療法の副作用が夫にわかってもらえず、しんどい時は夫婦で喧嘩が増え、別居や離婚の危機にいます
- ・学費を治療費に充てた
- ・正社員の仕事を辞めざるを得なかった。
- ・社会からの疎外感を感じたり仲間と疎遠になった
- ・大学の学費が払えなくなった
- ・傷病手当金があっても生活や医療費には到底足りず、住宅ローンや子どもの教育費をこれからどうしようかと考え込んでしまいます。
- ・治療開始時は、認知症義母の介護と育児でお金が必要になり、土地を売却した。
- ・一時的に私の治療費用と子供の教育、主人の入院手術と…負担が重なってしまったとき、私の親に資金援助をお願いしました
- ・働かないと家計が回らないので、フルタイムで働いていたため、ストレスがたまり、病状が悪化した。
- ・老後用のわずかな貯金解約、外食代&交通費がかかるので出歩かなくなり友人が減った
- ・自分の大切にしているコレクションや売れそうな物を売って治療費に充てる。

## 27. がん治療中、経済的な負担によって、起きた悪影響がありましたら、具体的に教えてください。抜粋④

- ・派遣契約がなくなり、傷病手当も申請できず、収入がなくなった。新たな仕事を探すのに時間がかかった。心が折れた
- ・最初の治療では我慢して大部屋にした。病院の病衣も必要時以外は自前にした。(日割り別料金)→少しでも節約のため。
- ・仕事を休んで時間はあるが体力とお金がない。余計な事を考えてしまうが(孤独感強い)コロナ蔓延で人混みや仕事にもいける状況ではなかった。(白血球減少)"
- ・放射線治療にかかるコストを全く考えておらず、高額療養費制度を申請していなかったので毎回自己負担が大きくてびっくりしました。
- ・預金が底をついた。夫の収入のみで何とかやっているが、再発転移などで、さらに大きな治療が必要になったら厳しい。
- ・両親が見かねて金銭的に援助してくれた。年金暮らしなのに、悪いなと思った。
- ・白血病が発症すると一日3万円薬代が掛かるとのこと。単なる延命なので治療はしないつもり。
- ・借金がかさみ、子どもたちに十分な教育を受けさせることができなかった。
- ・がんと診断され、入院を余儀なくされたら解雇されました。それも『自己都合』での退職にされました。3人の子供達は、中学生と小学生だったので、治療よりも、子供達の今後が気になっていました。
- ・仕事を辞め生活保護にならざるを得なかった
- ・一人親で子どもは中学生、それまでも収入少なく癌になってからは副作用で体がつらく、公的なところに相談に行ったが働くしかないと言われ絶望的な気持ちになった
- ・再発の可能性も高いと聞き、その場合の治療費のことを考えると不安で押しつぶされそうになる。
- ・貯金を切り崩して、あと何年治療ができると、貯金残高と余命をずっと考えています
- ・大学支度金を治療費生活費に充てた

## 27. がん治療中、経済的な負担によって、起きた悪影響がありましたら、具体的に教えてください。（まとめ）

### 【自身のがん治療に関すること】

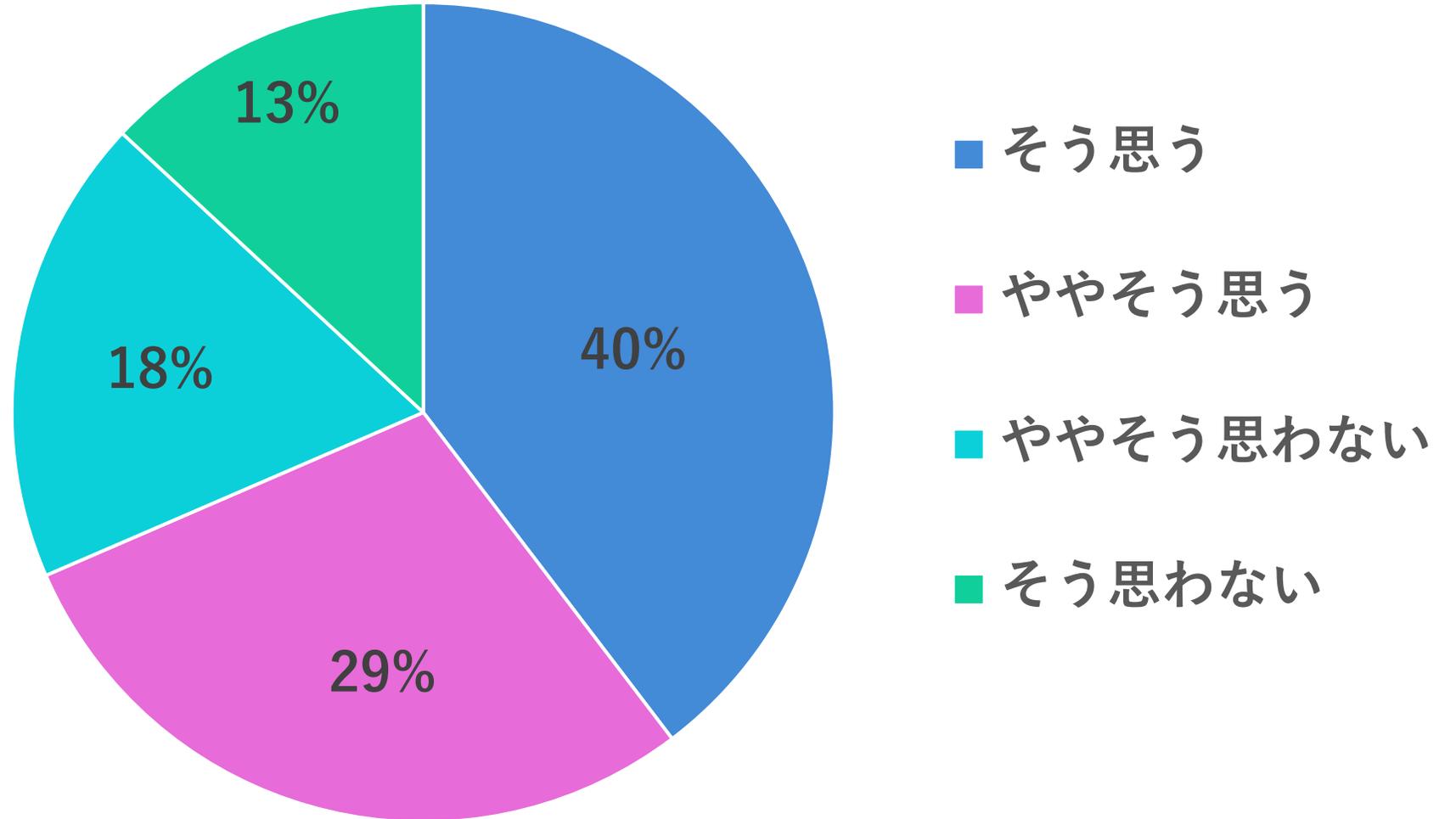
遺伝子の検査  
放射線治療  
遺伝子パネル検査  
術後補助化学療法  
追加手術  
分子標的薬  
ホルモン注射の治療  
通院回数を勝手に減らした  
妊孕性の温存  
セカンドオピニオン  
オペチューン

### 【家族に関すること】

子供の習い事  
子供の進学  
子供の受験に備えた夏期講習  
子供の成人式撮影  
  
実家への仕送り・経済支援

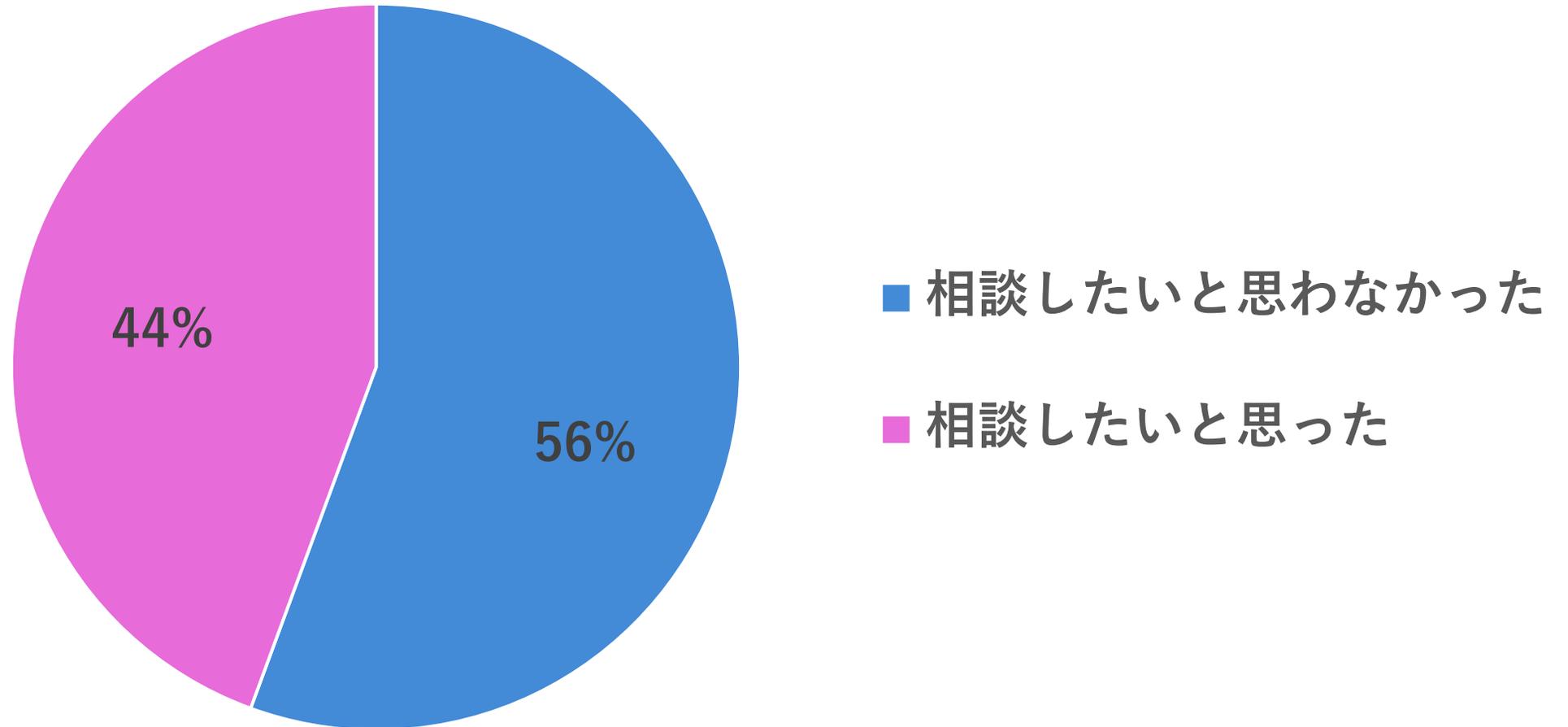
28. がん治療にかかったこれまでの医療費は  
予想していたよりも多いと思いますか？

N = 1,117



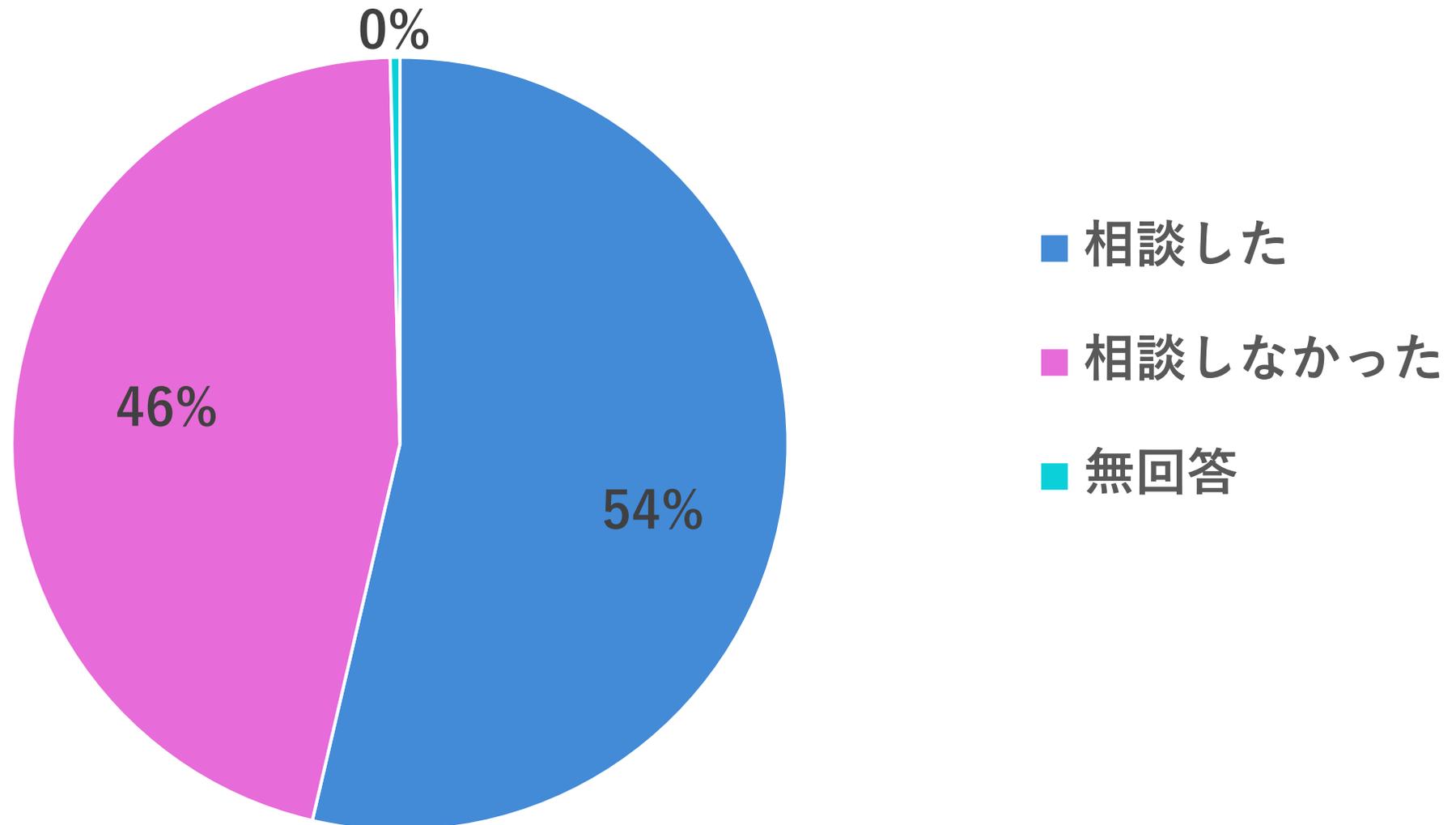
29-1. がんと診断されたとき、あるいは治療中、経済的なこと  
(お金のこと)について誰かに相談したいと思いましたが？

N = 1,117



29-2. 上記の質問で、【相談したいと思った】と回答した方に伺います。どなたかへ相談されましたか？

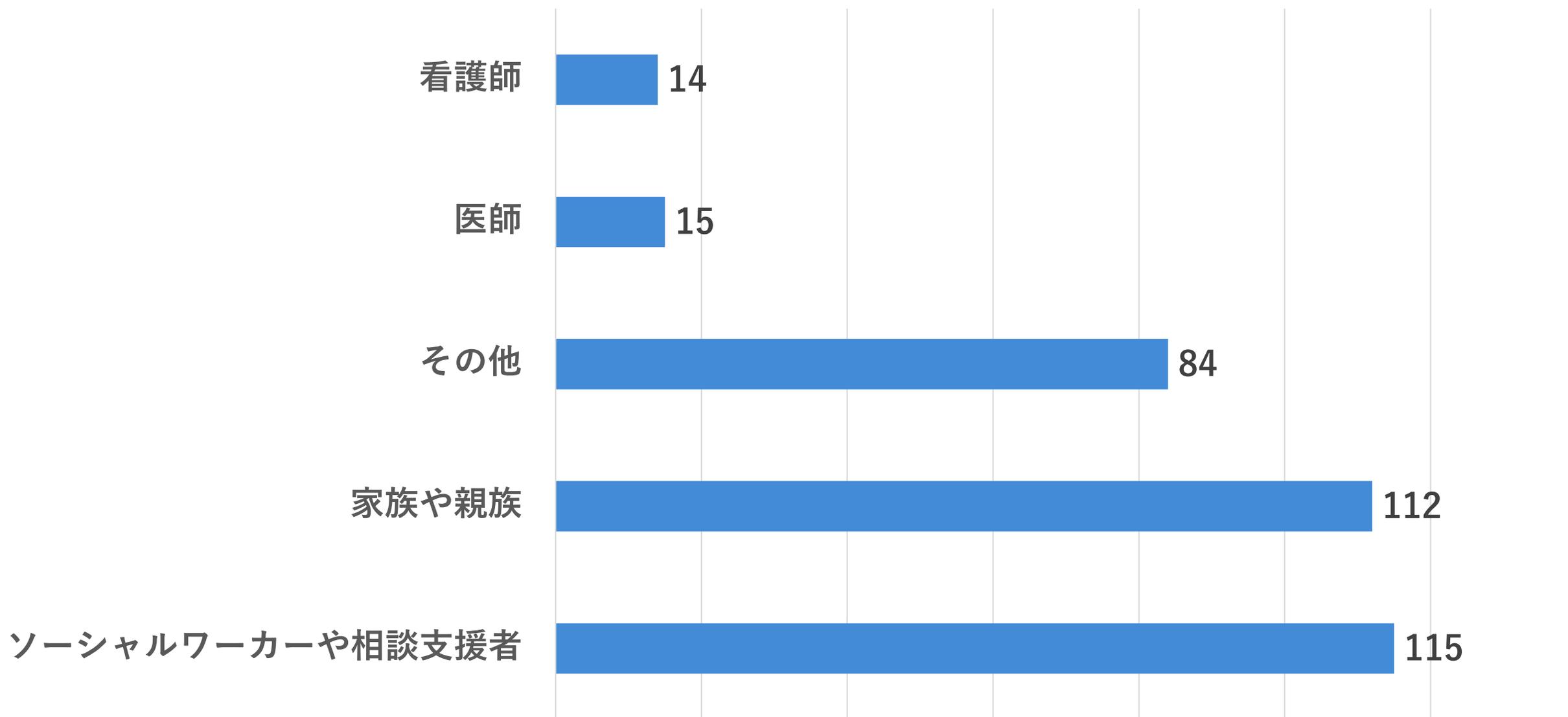
N = 496



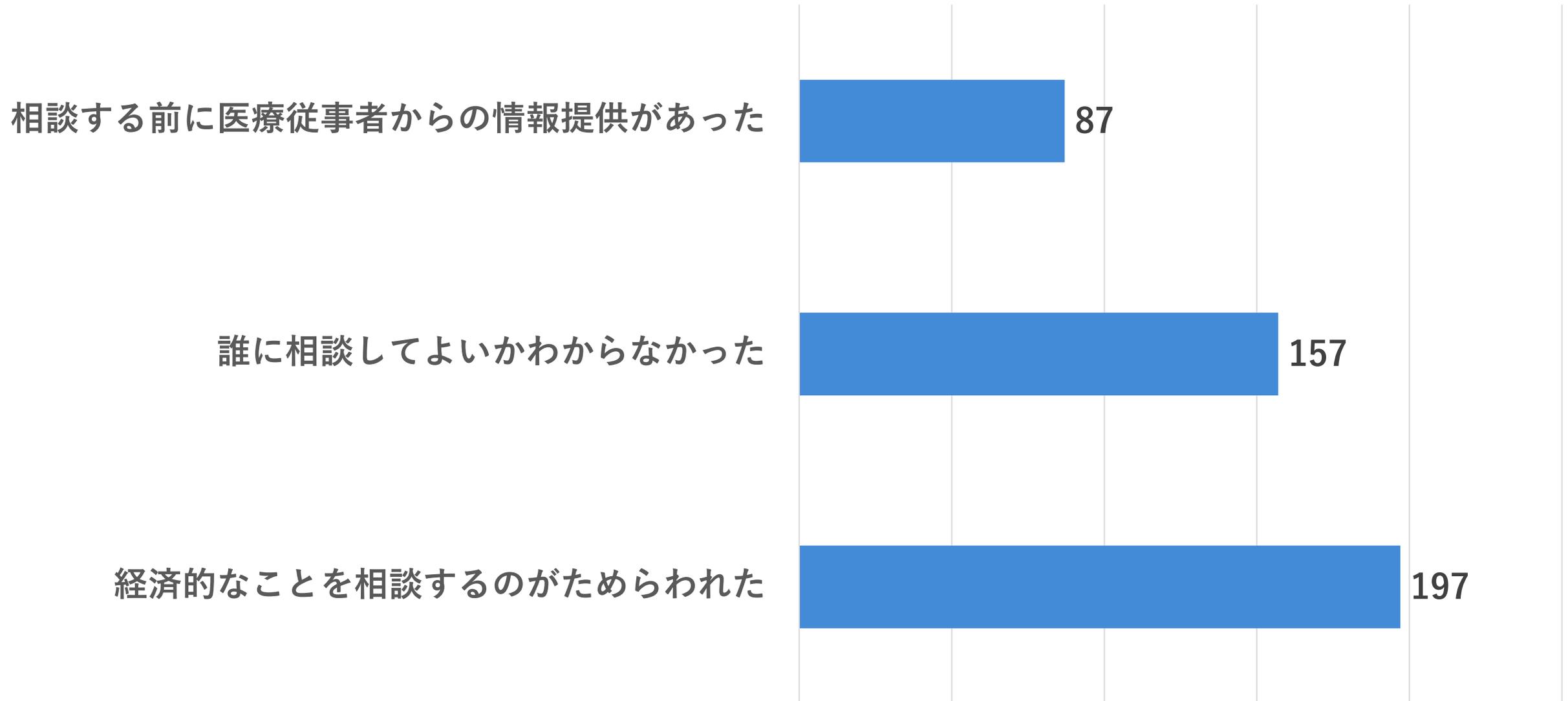
29-3. 上記の質問で【相談した】と回答した方に伺います。

N = 266

どなたへ相談されましたか？(複数回答可)



29-4. 29-2の質問で【相談しなかった】と回答した方に伺います。N=246\*  
相談しなかった理由を教えてください。



## 30. がん治療中に、医療者から「こうしてもらえたら経済的な問題について心理負担が減ったのではないか」と思うことがあったら教えてください。抜粋①

- ・事前に検査、手術費用、入院に係る全ての費用、術後の投薬代、退院してからの年間の検査代等、具体的に金額を示してほしい。そうすれば、心構えができると思います。
- ・前立腺がんです。手術、放射線、ホルモン治療など色々ある治療の話しを医師から頂きましたが金額の話しは一度もない為常に自身で金額を調べています。命に関わる事だからお金の問題ではないと想われていると思いますがホルモン治療薬等は高額ですので医師もそのあたり少し配慮して、病状とバランス良く説明頂けると助かります。
- ・手術、治療費、検査費用は事前に教えて欲しいのはもちろんですが、月を跨がない入院などに配慮してほしいですし、何より患者の医療費に対しての不安を聞き応えてくださるドクターだったらと思いましたが、看護師さんからドクターは医療費や制度に詳しくないと言われてしまいました。院内には支援室がありますが、ドクターや看護師さんも制度など理解してほしいと願っています。
- ・分子標的薬の説明をする時、先に高額だと言って欲しかった。ベージニオやります、と言った後に高額になるよと言われ、やっぱり辞めますと言えなくなってしまいました。
- ・主治医が医療費についてまったく把握してなかったのもうちょっと医療費について知っていて欲しかった
- ・これからかかる医療費、お薬代のガイドラインみたいなものがあって、それを基に概算みたいなものが分かり、治療前、中、後それぞれの機会ごとに説明をしてもらえたら将来的な不安の軽減になるのではないかと思います。
- ・費用についてパンフレット等を渡されたが、口頭で説明してもらえる機会があると質問しやすかった。
- ・入院を約1ヶ月間した時に、1日だけ月をまたいでしまった為、もうちょっと考えて融通してくれてもいいんじゃないかと思いました。(4月頭に入院して5月1日退院)話し合った結果、そのスケジュールじゃないと仕方ないなら勿論しょうがないと思いますが、月を1日またぐだけで、かかる費用は全く変わるので…そういうことを少し説明してくれるだけでも気持ちのモチようは違うなと感じました。

## 30. がん治療中に、医療者から「こうしてもらえたら経済的な問題について心理負担が減ったのではないか」と言うことがあったら教えてください。抜粋②

- ・がん治療中にコロナに罹患し、重症化リスクがあるからと薬を処方してもらったけれどその服薬費用が高額で薬局でいざ支払いの時に知りびっくりしたので事前に教えて欲しかった。また、制度の問題なので仕方ないけれど高額医療制度を利用してもそれなりの年収があったため毎月の支払いがかなりの額であったため、1回の抗がん剤治療でおおよそどれくらいかかるのかの目安は知りたかった。
- ・病院側の何かしらの理由で一旦支払いした会計が翌月に再計算になることが度々あり、高額医療費申請(限度額認定証で限度額を超えた分の)をするのに混乱したので、再計算にならないようにするかもしくはちゃんと説明をしてほしいと思いました
- ・日常的に使用する医療器具等(ネブライザーや電気式人工咽頭等)が自治体によって購入金の補助がある事を教えて欲しかった。
- ・地域医療体制の事です。大きな病院から地域病院へ受け継ぐ事は良い事だと思いますが、地域の病院に行って薬が合わないとなった時に再度自分で大病院の予約を取り直してまた診察するまでにも大幅な時間を要する(人気のドクターなら1ヶ月以上も先しか予約が取れない)地域連携とは？なんぞやって思ってしまいます。攻めて、薬の変更ならメールでのドクター同士のやり取りなどがあればいいのですが、それもなし。最終的に負担は全部患者さんに与えられます。(経済的にも、時間的にも)本当の意味での国の地域連携を望む所です。
- ・手術費は病院の患者サポートセンターで看護師が教えてくれたが、手術後の化学放射線治療の費用については誰も教えてくれなかった。検査費用、化学療法など費用を事前に説明して欲しかった
- ・離島のため飛行機で病院に通っていましたが、地元の病院で抗がん剤治療が受けられたら負担はだいぶ減った。
- ・治療中にそれを言い出すと医療者は治療がやり辛くなるのでは？と考えると言い出せなかった。
- ・国保の減免や奨学金の返還猶予について相談出来る人や教えてくれる人が欲しかった
- ・治療中に体調を壊して休んだりしても、退職を余儀なくされない方法があれば知りたかった。
- ・治療の組合せを選択しながら、その治療費の概算が簡単に調べられるサイトがほしいです

## 30. がん治療中に、医療者から「こうしてもらえたら経済的な問題について心理負担が減ったのではないか」と言うことがあったら教えてください。抜粋③

- ・ 支援センターが併設されていることは聞かされていたが、行くことはなかった。まずは全てのがん患者が一度は行くことを強く言われたら、安心できるが増えると思います。
- ・ MRIや骨シンチなど高額な検査になる場合、事前に教えて欲しかった、栄養指導も料金が発生することも知らなかった（栄養指導は役に立っていない）。化学療法開始して定期的な検査も勝手に決められていたのにその結果も教えてもらえず次の投薬になったりしていたので、検査の必要性も知りたかった。
- ・ 経済毒性とは何かを教えてもらい、我慢する必要はなく誰でも相談できる場所があることを伝えてほしかった
- ・ 入院の途中から、お金がいくら掛かるのか心配になり、会計に何度か尋ねたら、看護師からそう言うことは困るからやめてねと注意された。心配過ぎて退院を強引に早めた。何故、概算でも教えてもらえなかったのだろう。
- ・ 高額な飲み薬を「再発するまで飲んでもらいます」と始めに言われ、ずっと再発しなかったらこの高額な薬を飲み続けるのか？と、心配になりました。が、実際は3年で終了しホッとしました。
- ・ 経済的な不安があるときの相談窓口などを詳しく教えて欲しかった。治療にかかる費用は削れないので、自治体などのサポートがあれば積極的に発信して欲しい。例えばアピアランスケアの助成金もあるので「髪が抜けるからウィッグを用意してください」だけではなく、申請したら自治体から補助金がでることも併せてお知らせしてくれると助かります。
- ・ 医療者じゃなくて会社での相談の方が心理負担が減ったと思う。住宅ローンもあるのに休職や時短はできない。費用額を教えてもらっても減るわけでもない。
- ・ 罹患発覚頃、限度額証明があってもPETは近隣の病院に受けに行ったので、一時的な負担が数万円掛かってドキっとした。後ほど健保から戻るとは言え数ヶ月後なので、もう死んでからになるかもと不安になったものです。抗がん剤治療、放射線治療中 体調が悪く往復1万円ほどのタクシー通院の為 交通費だけで5～60万ほどかかりました。医療費は高額医療が有りますが交通費が負担になりました。入院治療も選べたらいいのにとおもいます。
- ・ がんになっても入れるがん保険情報

## 30. がん治療中に、医療者から「こうしてもらえたら経済的な問題について心理負担が減ったのではないか」と言うことがあったら教えてください。抜粋④

- ・事前に費用を聞いてもかかる費用は変わらないから意味がないと思っています。
- ・病院で心療内科やAya世代の患者会など相談する場所があったらよかったと思う。
- ・保険適用ではないことを理由に、パネル検査をしないと医師にて判断をされていたけど、経済負担してでも検査をしておきたかった。（経済毒性とは反対？）
- ・包括評価算定（DPC/PDPS）であることを主治医から聞いたが、初めて聞く用語でその仕組みまで説明してもらえる雰囲気ではなく、実際に金額は最後にならないとよくわからなかった。相談支援センターをもっと活用できればよかったかもしれないですが、治療中はその気力がでなかった。気軽に活用すべきであることを知ったのは患者会などを知ってからだったので、病院にそのような安心して相談できる場所があることをもっとアピールしてもらえるとよかったと思う。
- ・遠方で何回行くのか分からなかった。医療費より交通費が馬鹿にならなかった。しかし自分が選択したので仕方がないと思っている。医療機関の選択が大事だと思う。
- ・治療を受ける病院のアドバイザーなどのスタッフから治療費や制度など教えてもらえると良かったと思う。医者にそれを求めるのは負担があるのではと思う。
- ・重粒子線治療は主治医からの紹介で費用は最初から示されたが、312万円はあまりに高い。その後保険適用になったので、そういうものは補助があってもいいと思った。
- ・ケモも何クール目か、や初発か再発かで副作用対策なども変わるように、経済的な問題も、治療のフェーズによって形を変えます。局面局面に応じたアドバイスが欲しいと思います。
- ・病院・公的機関・職場等、補助出来るものがあることの情報を、早い段階で教えてもらえると良かったと思います。
- ・入院中（休職中）期間でも諸々税金が発生するということを教えてほしかったです。

## 30. がん治療中に、医療者から「こうしてもらえたら経済的な問題について心理負担が減ったのではないか」と思うことがあったら教えてください。抜粋⑤

- ・医療費については口頭でわりと何回も説明があったし、聞けばだいたい答えてくれたけど、治療前は説明事項が多いし色々なことを決めないといけないストレスの中にいるので、医療費一覧のような資料があればいいと思いました。
- ・医療費については口頭でわりと何回も説明があったし、聞けばだいたい答えてくれたけど、治療前は説明事項が多いし色々なことを決めないといけないストレスの中にいるので、医療費一覧のような資料があればいいと思いました。
- ・速くに、3ヶ月処方にしてもらいたかった。院外薬局でも、計算の不備があり薬代が高かった。
- ・手術をしたら終わりではなくて、抗がん剤治療や10年もホルモン治療をしないといけなかったから薬代がどれだけかかるのか教えて欲しかった。
- ・我が家は夫が働けなくなった時に個人的にFPさんに相談できて救われました。病院でもFPさんに相談できると患者は助かります。
- ・治療費ではないが、化学療法による脱毛で使用する帽子、ウィッグ、アイブロウ、医療用ブラジャーなどもう少し詳しく教えてもらえるとよかった。コロナ禍で、病院に来るウィッグやブラジャーのメーカーさんもおらず、自分で探すのにとっても苦労した。
- ・治療計画目安時点で、外来での抗がん剤、点滴、自宅での抗がん剤内服含めた総支払い額と高額医療費制度による軽減がどのくらいかなど実際にかかる金額と還付される金額が分かれると安心感につながると思う
- ・治療費よりも検査費用の高さに驚きました。検査費が高いと言うことをもう少し知らせていただきたかった。
- ・私自身が医療従事者(看護師)であるが経済的負担が患者に与える影響を理解していなかった。(MSWや事務に振ってしまうため)職場(病院)の同僚達も理解していない。→お金の事を言うのは悪と言う日本人特有の考え方。また職場(病院)も大赤字だったため治療と仕事の両立支援の理解を得る事が大変であった。(厄介者だと思われたのでは)日本社会の問題。

## 30. がん治療中に、医療者から「こうしてもらえたら経済的な問題について心理負担が減ったのではないか」と思うことがあったら教えてください。抜粋⑥

- ・ 大体の費用を教えてもらいたかった。保険適用の標準治療なので、そんなに大きな違いがあるとは思えない。特に5年～10年かかるホルモン陽性の乳がんでは、先の見通しなども含めて考えることができたと思う。
- ・ 検査前にかかる費用の説明、治療完了までのロードマップと全体でかかる費用の説明
- ・ 検査や抗がん剤治療は事前に教えてもらったが、入院手術は退院前日の遅くにおおよその金額を出してもらった。もっと早く教えてもらいたい。
- ・ 治療が長期にわたり入退院を繰り返していたので、途中から高額療養費制度が使えることはわかったが、入院と外来は別など複雑で理解できなかった。高額分子標的薬と骨髄検査が3万円など外来でも一回に8万円以上の支払いがあったりしたので、保険適応以上の検査は避けておられたようだが説明が欲しかった。クレジット決済ができたのは助かった。
- ・ 寿命は短くなってもいいので持っているお金の範囲内で治療したい、そういうことを相談できたらいいと思う
- ・ 医療者というか相談の窓口がわからない、探す精神的な余裕がない。高額医療や、ウィッグに対する助成など知るタイミングが遅かった。ウィッグは結局申請遅れて期間対象外だった。治療だけでなく経済面でも情報弱者というのはあると思う。ネット環境の有無、周りに相談できる人、詳しい人の有無、つまり結局人間関係構築力ということになってしまう。「医療者」からに限定した回答でなくすみません。
- ・ 癌と診断受けたらその日のうちに必要な書類、パンフレット渡してほしい。又は病院の書類関係の部署で完結できるようにしてもらいたい、書類関係申請するのに役所に行く体力、精神ダメージが大きかった。
- ・ 通院と仕事の両立の為に通院のスケジュールを早く組んで欲しかった。
- ・ 必要な検査や治療を費用額によってやめることは考えないが、通常ものを購入する時、値段を知らないまま買うことはないので、ある程度高額な検査や治療は事前にだいたいの費用を知りたい。一覧表等にしたものを渡すのでもよい。そういうものがあれば、治療全体で大体いくら位かかりそうかの見通しが立つ。

## 30. がん治療中に、医療者から「こうしてもらえたら経済的な問題について心理負担が減ったのではないか」と思うことがあったら教えてください。抜粋⑦

- ・病気の説明はあったが、経済的な相談に乗ってくれる専門員がいるなら、困り事がないか声をかけてほしい。
- ・飲み薬一錠でも予想以上の薬価だったので、事前に知りたかった
- ・術式の説明ばかりで、それにかかる費用の説明は一切なかった。また入院期間が月を跨ぐことについて、費用負担が増大することからどちらかの月だけにしたいことを伝えると嫌な顔をされた。手術の時期を決めることも大切だが、担当医は費用についての配慮もしてほしいと思った。結果的にはこちらの希望を通したが、なにも知らなければ入院費はもっと高くなったかと思うとモヤモヤする。
- ・抗がん剤や分子標的薬の点滴の為の通院を自分の住む市内の病院で受けられるかを、調べて欲しかった。家の近くに総合病院があり、此处で出来れば交通費もかかる時間もだいぶ、少なく出来たと思うので。
- ・治療が始まる前に、今後がん治療にどのくらいのお金がかかるかを聞いていたら、少しは安心できたと思う。特に、放射線治療にかかるお金の検討が当時はつかず、事務の方に調べてもらった（医師か看護師さんに聞いたが、明確な回答が得られなかったので）。
- ・これから始まる治療の期間とかかる凡その治療費、そのために仕事を休まなければいけない可能性等を見積書のように一覧にして欲しい。
- ・限度額適用認定や確定申告時の医療費控除、傷病手当金や高額療養費の合算の仕組みなどを医療者（ソーシャルワーカーや医事課など）から教えてもらえると助かると思いますが、実際に申請などしたことがない方には説明が難しいかも知れません。
- ・高額療養費制度が過去の収入に応じて設定されているので 治療のために仕事をやめていたのに手術入院の時の費用も高額医療の設定に達せずに全く使えなかったのは想定外でした。
- ・自分の状況が障害年金の対象になるのか、誰に相談してよいのか分からなかった。
- ・治療薬の値段、検査の費用等、治療に必要な費用について、だいたいいいから説明があれば、心理的負担や不安が軽減したと思う。医療者からは、一切、費用の説明はなかった。支払いの場で驚愕するばかりだった。

## 30. がん治療中に、医療者から「こうしてもらえたら経済的な問題について心理負担が減ったのではないか」と言うことがあったら教えてください。抜粋⑧

- ・ 経済毒性で負担に感じている患者の声を聞きたかった。医療者からの説明は事実を教えてもらうだけで、同じ立場の人の話を早い段階で聞いてみたかった。
- ・ お金に関する相談窓口として、がん相談支援センターを紹介し診察室からアポイントを取って欲しい。最初に必ず相談支援センターで説明する仕組みが必要
- ・ 限度額超えの治療が延々と続くことをはっきり言って欲しかった。制度ドックももっと周知してほしい。
- ・ 新しい治療のたびに最初の支払いにドキドキしています。払うのは同じですが、事前にわかると嬉しい。
- ・ 癌と診断された時に、今後かかる費用についてや高額療養費の手続きとうについて相談できるようソーシャルワーカーに繋げて欲しかった。手続きが後手に回り結局費用負担を一旦してからの払い戻しとなった。
- ・ おおよその費用と高額医療費でどれだけカバーされるか。
- ・ 限度額認定証は夫の年収によって決まるが主婦は年収も少ないパート無職の患者もいる夫の年収ではなく患者の年収にしてほしい自分で病院の費用を工面しなければならないので
- ・ 逆に治療費を教えられたら心理的不安が増えたかもしれません。今打っている注射の原価を知った時はもうどうしようかと
- ・ 検査と診察と同月にまとめてほしい。お薬もまとめて出してもらえたら嬉しい。
- ・ 高額医療控除は1ヶ月目からは100%減額されず、段階的に安くなり確か3回目から最大限減額されるようだ。もしそれが分かっていたら最初から家の近所の薬局で薬を注文できた。最初病院近くで購入したので、その後近所に替えるには数万の損失がでることが分かり、ずっと病院近くで買っている。不便です。その点もまとめて説明が欲しかった。ただ近所の薬局だと取り寄せになるので、薬のない時間が生まれてしまう。その点も注意喚起が必要。というか、1回目から最大限減額してほしい。
- ・ 高額医療費に含まれないもの、食費代や手術直後の個室差額ベッド代などが想像以上に負担だったので、事前に説明が欲しかった。

30. がん治療中に、医療者から「こうしてもらえたら経済的な問題について心理負担が減ったのではないか」と思うことがあったら教えてください。

【まとめ：4つのポイント】

- **検査や治療前の費用提示:** 検査や治療前に、費用額や自己負担額、高額療養費制度の適用などを含めた費用の概算を事前に知りたい。
- **治療計画の説明:** がん告知時に、治療計画の概要や費用、期間などの見通しを説明してほしい。
- **治療費の透明化:** 各検査や治療の費用、薬剤の費用などを具体的に示してほしい、治療法ごとの費用を比較できるようにしてほしい。
- **相談しやすい環境:** 経済的な問題を相談しやすい環境や、医療費に関する制度や支援策についての情報提供を求める。

ご協力くださった皆さまへ  
心から感謝申し上げます。